

Ⅲ 結果の詳細

2 質問紙調査

全国学力・学習状況調査結果チャート（１４，１５ページ参照）における各領域について、それぞれに該当する質問事項の中で顕著な特徴の見られるものを取り上げ分析した。さらに、「児童生徒の家庭学習の充実」と「言語活動の充実」に関わる質問事項については、別頁を設けて詳述した。

平成２６年度調査結果を中心に、質問事項によって経年変化や回答結果と正答率の関連及び散布図を活用した。

※以下の「肯定的回答」とは、「当てはまる，どちらかといえば当てはまる」，「よく行った，どちらかといえば行った」など肯定的な選択肢を選択した割合の合計である。

※文中の，「同程度」は全国との差が±0.9ポイントの範囲内，「やや高い，やや低い」は全国との差が±1.0～4.9ポイントの範囲内，「高い，低い」は全国との差が±5.0～9.9ポイントの範囲内，「著しく高い，著しく低い」は全国との差が10.0ポイント以上であることを表している。

※表中の，「全国との差」欄の， は全国を下回ることを示しており，△は全国との差5.0ポイント以上，▼は全国との差5.0ポイント以下であることを示している。

※「散布図」は，各都道府県の肯定的回答の割合について，児童・小学校を横軸に，生徒・中学校を縦軸に対応させ，○印で示したものである。（■は千葉県，▲は全国平均を示している。）

（１）児童生徒質問紙調査

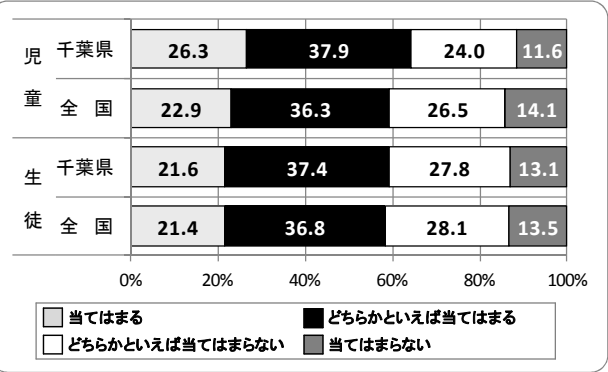
① 学習に対する関心・意欲・態度

ア 国語への関心等

質問番号	児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
			千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
50	50	国語の勉強は好きですか	64.2	5.0 △	59.0	0.8
51	51	国語の勉強は大切だと思いますか	91.3	-0.5	88.1	-0.9
52	52	国語の授業の内容はよく分かりますか	80.5	0.4	70.6	-1.4
53	53	読書は好きですか	73.4	0.4	74.4	5.0 △
54	54	国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか	86.9	-0.5	81.9	-0.6
55	55	国語の授業で目的に応じて資料を読み，自分の考えを話したり，書いたりしていますか	62.3	0.9	55.5	-0.6
56	56	国語の授業で意見などを発表するとき，うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	58.5	0.0	48.7	-0.4
57	57	国語の授業で自分の考えを書くとき，考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	70.1	-0.6	60.4	0.1
58	58	国語の授業で文章を読むとき，段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	74.2	-1.6	68.3	0.8

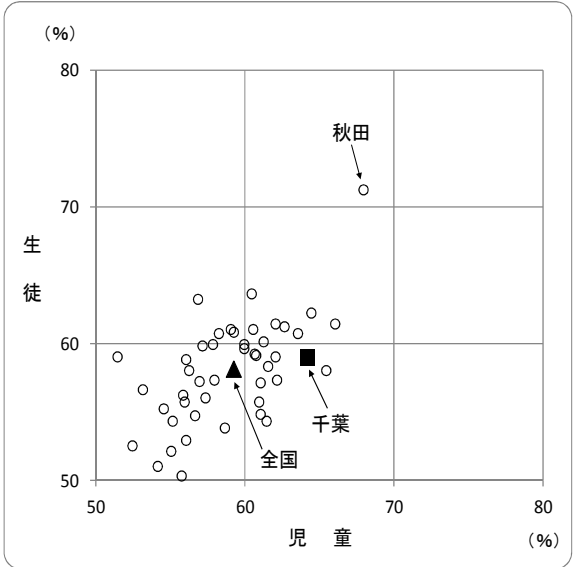
50 国語の勉強は好きですか

【平成２６年度調査結果】



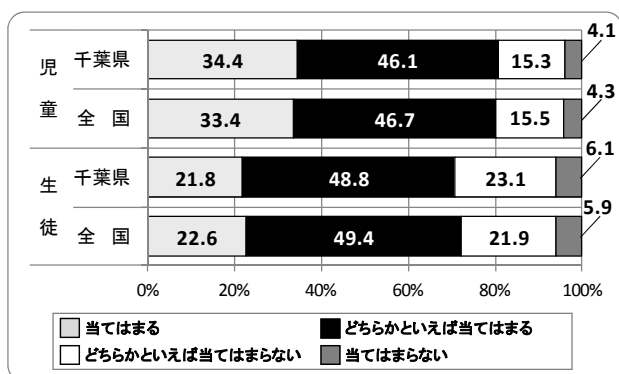
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べて高く，生徒は全国と同程度である。特に児童の国語への関心の高さは，全国の中でも上位に位置している。

【散布図】

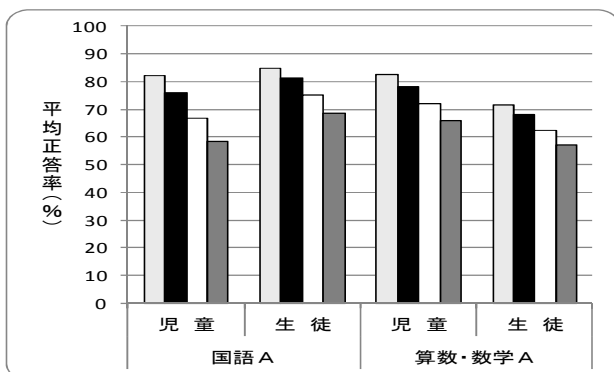


52 国語の授業の内容はよく分かりますか

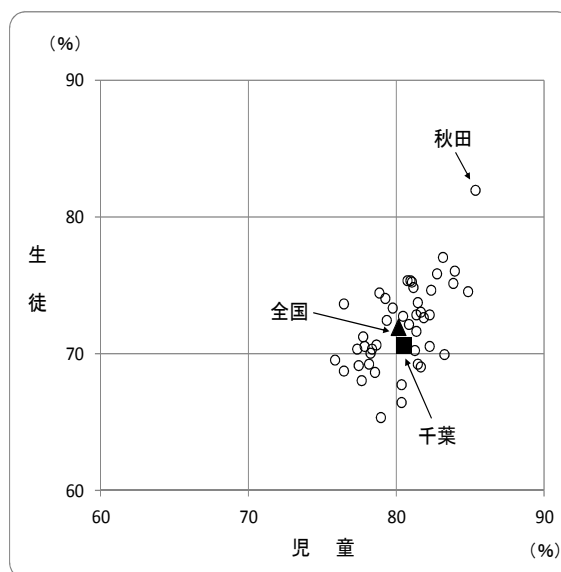
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



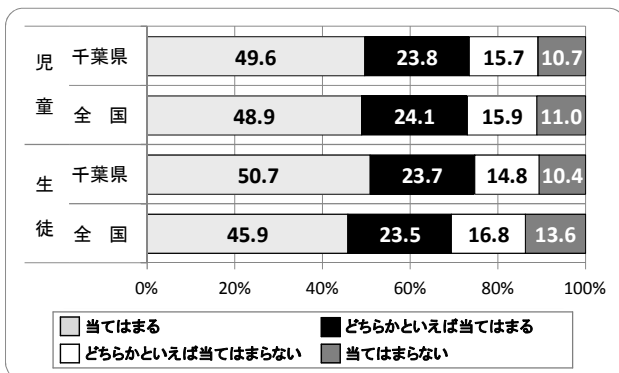
【散布図】



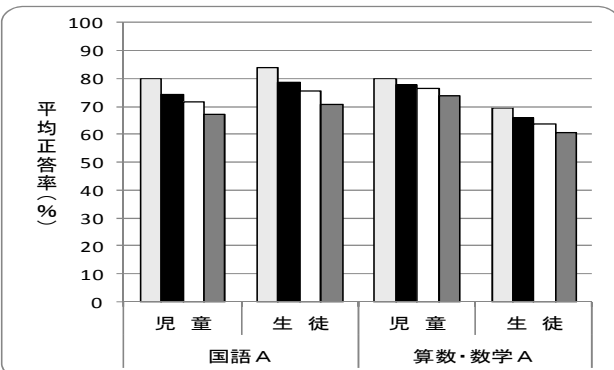
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや低い。授業の内容がよく分かると回答した児童生徒ほど正答率が高く、児童にその傾向がより強く見られる。

53 読書は好きですか

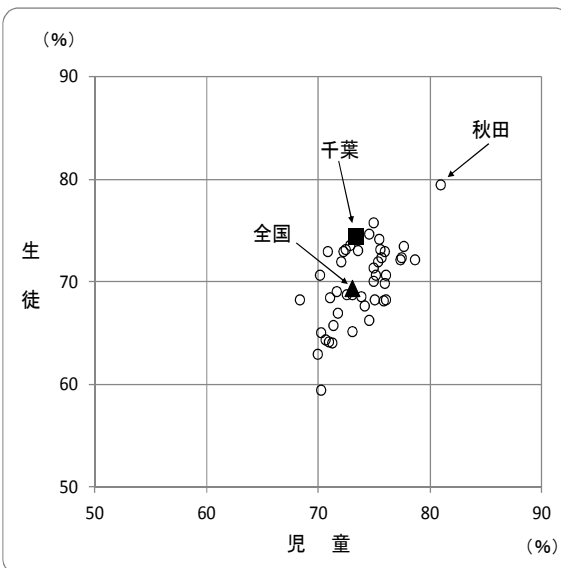
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



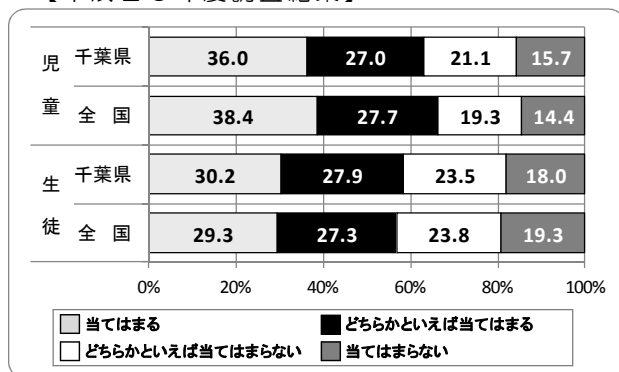
肯定的回答の割合は、児童は全国と同程度であり、生徒は全国と比べて高い。読書が好きな児童生徒ほど、国語 A のみならず算数・数学 A においても正答率が高い傾向が見られる。

イ 算数・数学への関心等

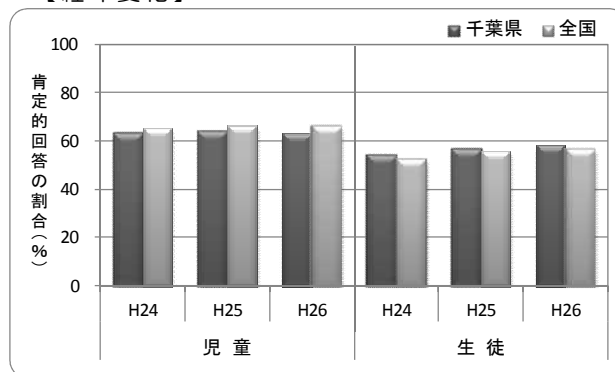
質問番号 児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
62	62 算数・数学の勉強は好きですか	63.0	-3.1		58.1	1.5	
63	63 算数・数学の勉強は大切だと思いますか	90.6	-1.7		81.5	-0.6	
64	64 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	76.5	-3.1		71.0	-0.5	
65	65 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか(小)／数学ができるようになりたいと思いますか(中)	74.8	-2.5		91.1	-0.2	
66	66 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	75.6	-2.5		69.7	-0.6	
67	67 算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	66.7	0.4		42.8	1.9	
68	68 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.7	-1.3		70.6	-0.8	
69	69 算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	78.1	-1.3		69.1	1.7	
70	70 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ・根拠を理解するようにしていますか	80.0	-1.3		70.2	0.2	
71	71 算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.5	-1.9		80.7	0.7	

62 算数・数学の勉強は好きですか

【平成26年度調査結果】



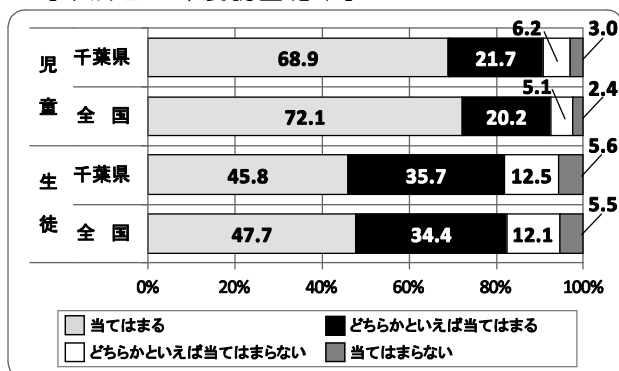
【経年変化】



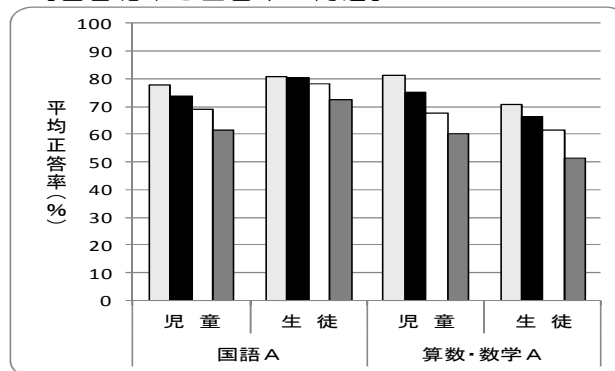
肯定的回答の割合は、児童は全国と比べてやや低く、生徒はやや高い。平成24年度以降、「数学の勉強が好き」と回答した生徒の割合が増加しており、全国を上回っている。

63 算数・数学の勉強は大切だと思いますか

【平成26年度調査結果】



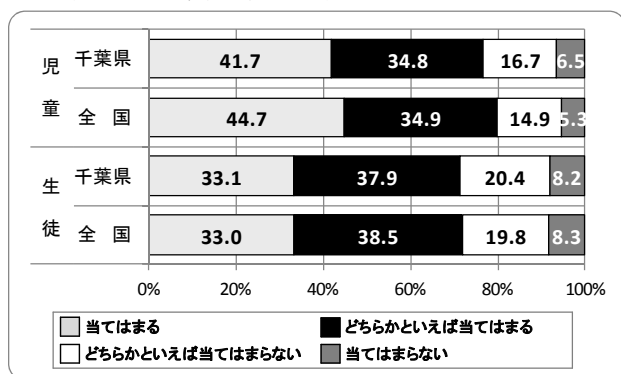
【回答結果と正答率の関連】



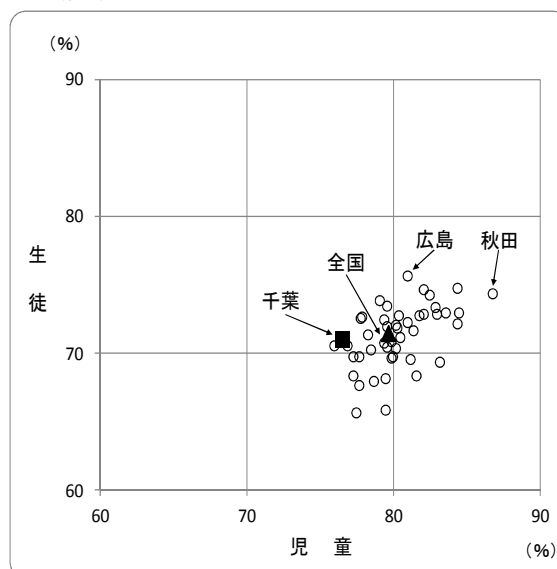
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに80%を超えているが、児童については全国と比べてやや低い。生徒は全国と同程度である。算数・数学の勉強は大切だと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

64 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

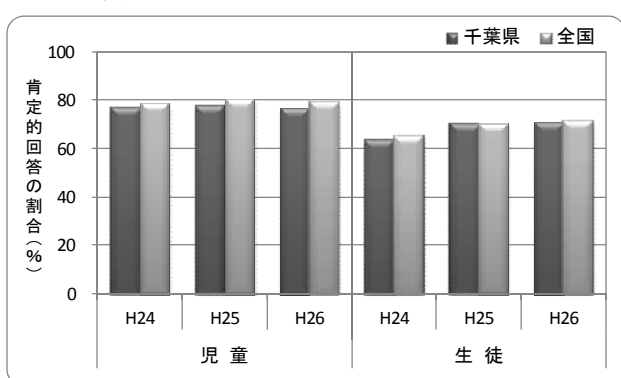
【平成26年度調査結果】



【散布図】



【経年変化】



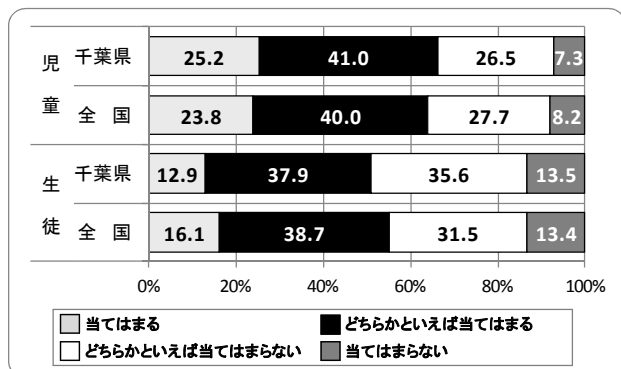
肯定的回答の割合について、児童は70%を超えているが、全国の中では下位に位置している。生徒は全国と同程度であるが、平成24年度以降、増加傾向が見られる。

ウ 総合的な学習への関心等

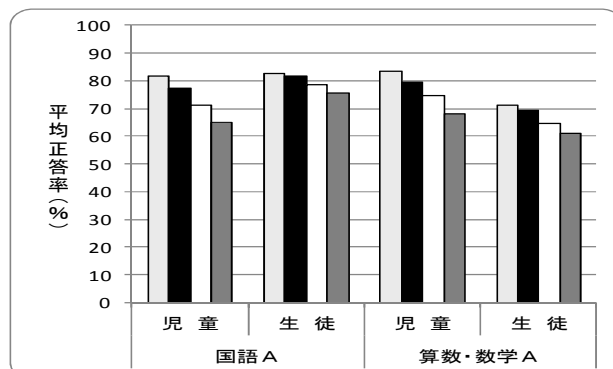
質問番号	質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
39	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	84.1	-0.9	70.2	-1.0
40	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	66.2	2.4	50.8	-4.0

40 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



肯定的回答の割合は、児童は全国と比べてやや高く、生徒はやや低い。肯定的回答をしている児童生徒ほど正答率が高く、児童にその傾向がより強く見られる。

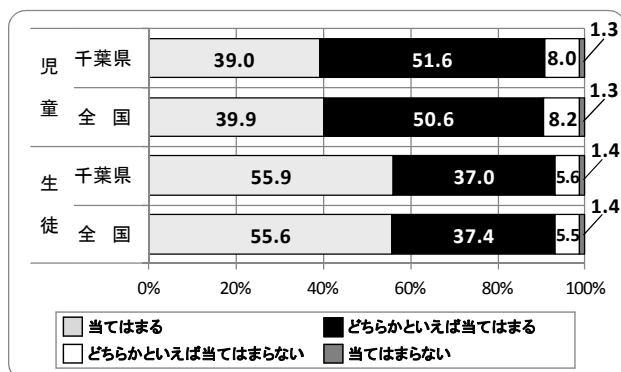
② 規範意識・自尊感情

ア 規範意識

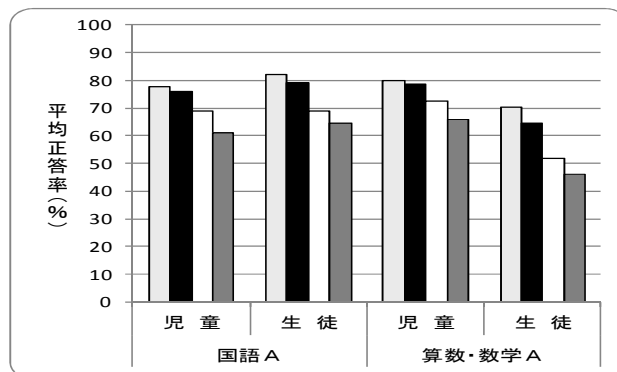
質問番号 児童 生徒	質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
34	34 学校のきまり・規則を守っていますか	90.6	0.1	92.9	-0.1
35	35 友達との約束を守っていますか	97.0	-0.3	96.8	-0.3
36	36 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	94.0	-0.4	95.3	0.0
37	37 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	-0.7	92.8	-0.6
38	38 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	93.6	-0.4	93.7	-0.3

34 学校のきまり・規則を守っていますか

【平成26年度調査結果】



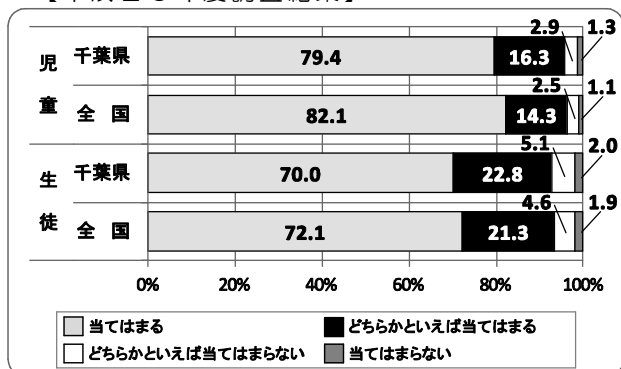
【回答結果と正答率の関連】



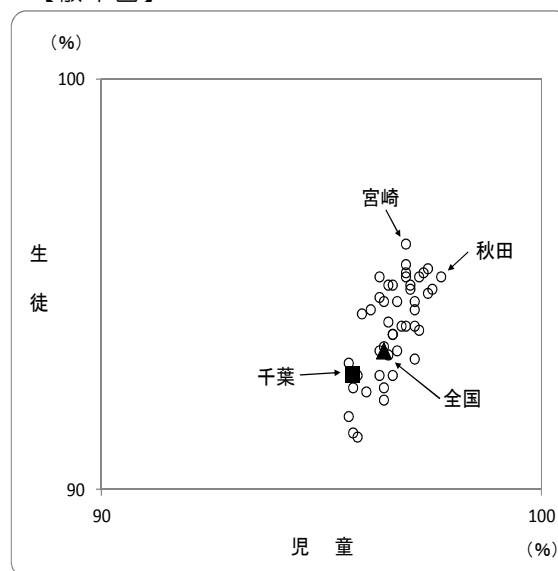
「きまり・規則を守っている」と回答した割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国と同程度である。規範意識の高い児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

37 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

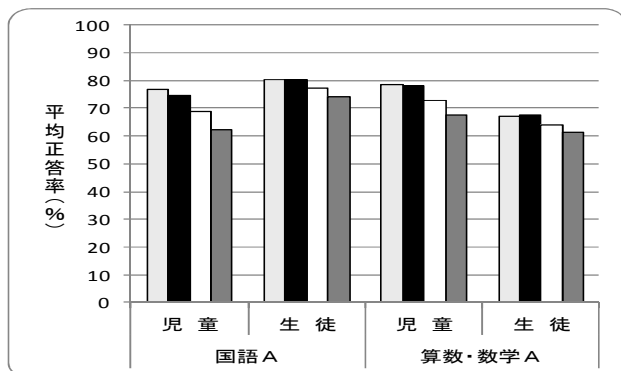
【平成26年度調査結果】



【散布図】



【回答結果と正答率の関連】



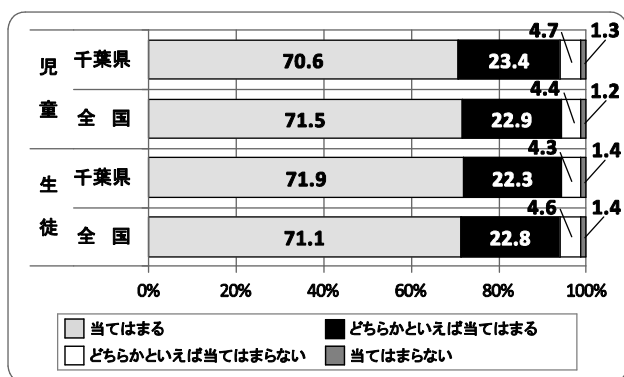
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えているが、全国の中では下位に位置している。いじめをいけないことだと思っている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

イ 自尊感情

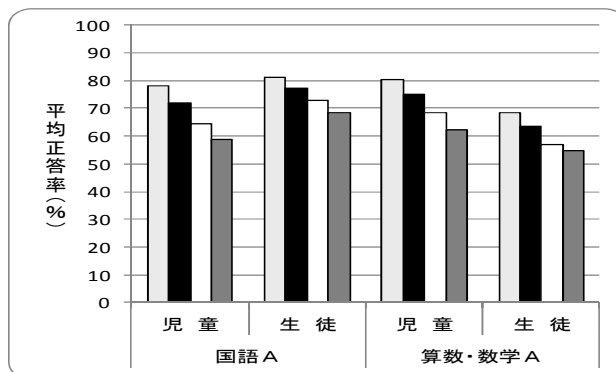
質問番号	質問事項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
4	4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.0	-0.4	94.2	0.3
5	5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	74.0	-1.1	70.1	2.1
6	6 自分には、よいところがあると思いますか	75.3	-0.8	67.1	0.0
10	10 将来の夢や目標を持っていますか	87.0	0.3	72.0	0.6

4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

【平成26年度調査結果】



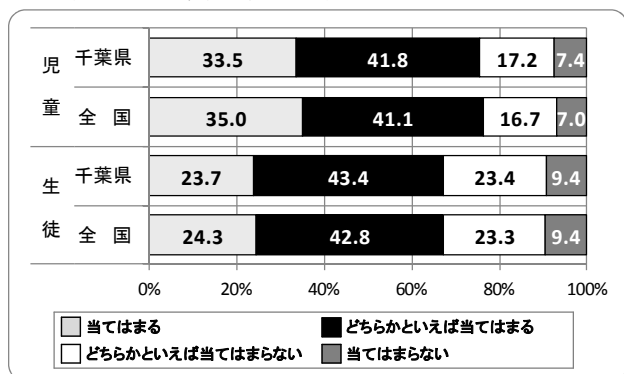
【回答結果と正答率の関連】



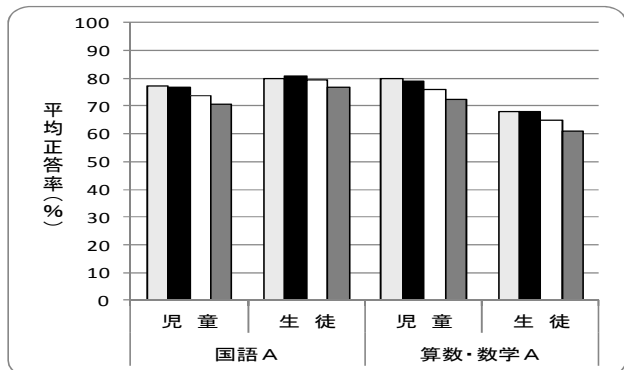
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えており、全国とほぼ同程度である。達成感を味わっている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

6 自分にはよいところがあると思いますか

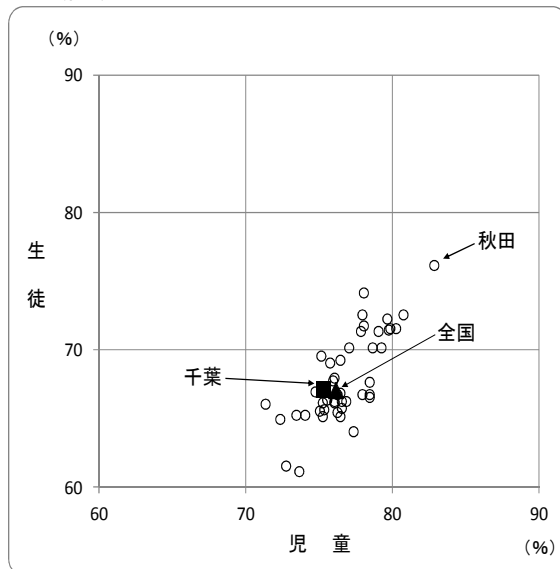
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度であるが、生徒に比べて児童の方が高い。自分のよさを認識している児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

③ 学習の基盤となる活動・習慣

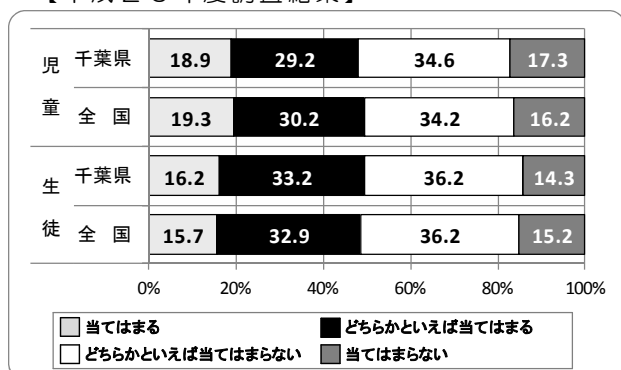
ア 言語活動・読解力

質問番号 児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)		生徒(肯定的回答)	
		千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
7	7	48.1	-1.4	49.4	0.8
8	8	73.1	-1.7	70.0	-0.3
9	9	91.6	-0.1	92.2	0.0
41	41	79.8	2.5	47.4	0.9
42	42	81.8	-1.9	82.2	1.1
43	43	84.3	-0.6	75.6	0.3
46	46	35.9	-0.5	33.9	0.9
47	47	42.0	-0.3	33.0	0.3
48	48	65.5	-0.4	62.4	0.5

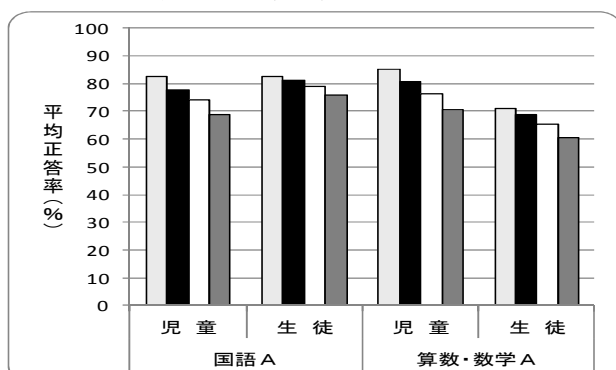
※46, 47の「肯定的回答の割合」とは、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合の合計である。

7 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

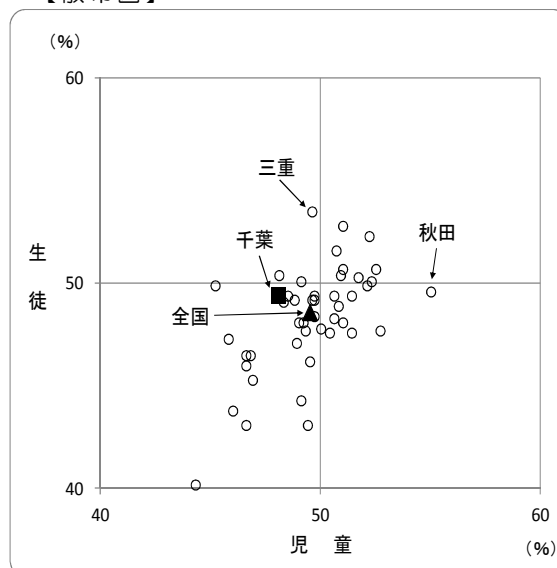
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】

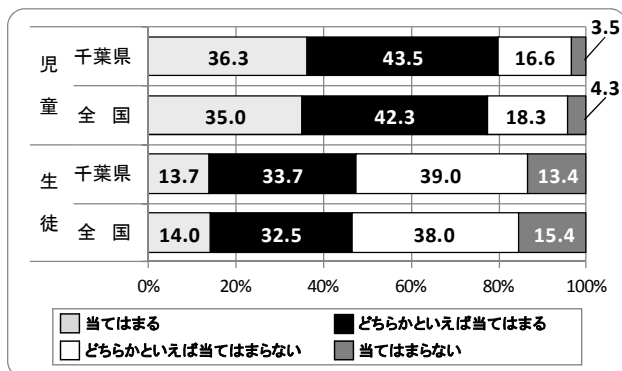


肯定的回答の割合は、児童は全国と比べてやや低く、生徒は全国と同程度である。発表することが得意だと感じている児童生徒ほど正答率が高く、児童にその傾向がより強く見られる。

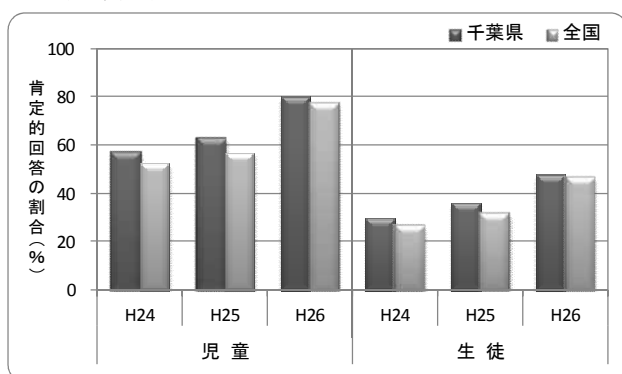
41

5年生までに・1，2年生のときに受けた授業では，本やインターネットを使って，グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか

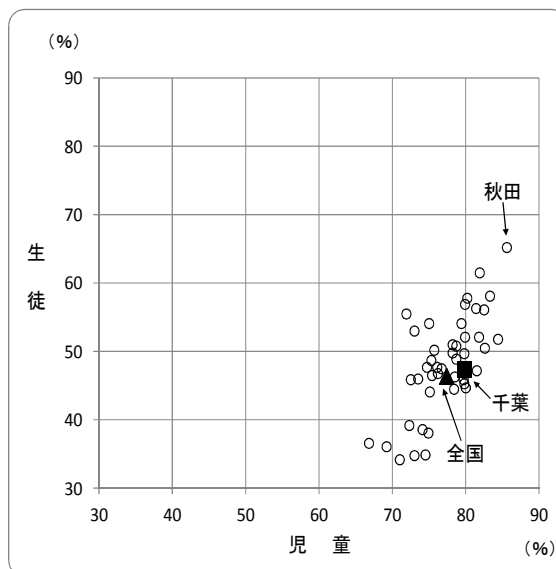
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】

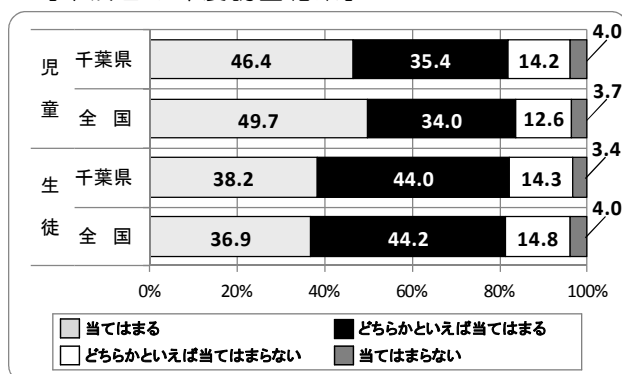


肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや高く，生徒は全国と同程度である。平成24年度以降，児童生徒ともに増加傾向が見られるが，児童より生徒の方が約30ポイント低い状況が続いている。

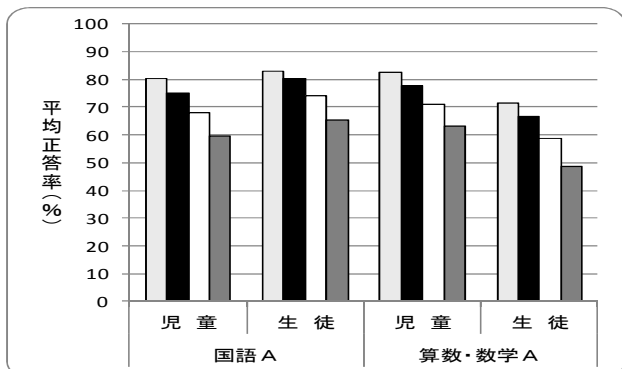
42

5年生までに・1，2年生のときに受けた授業では，自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

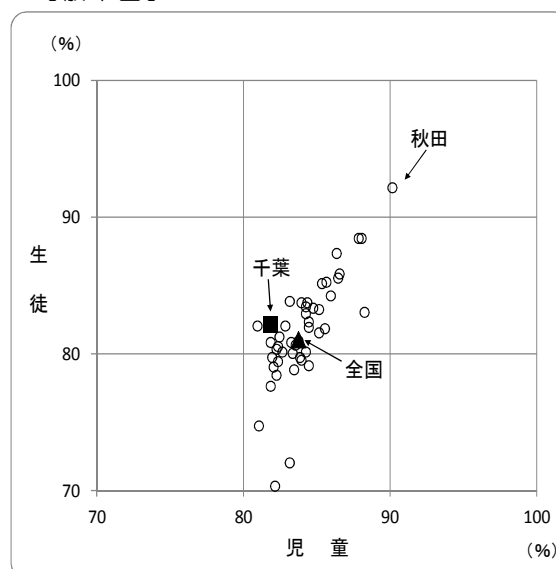
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



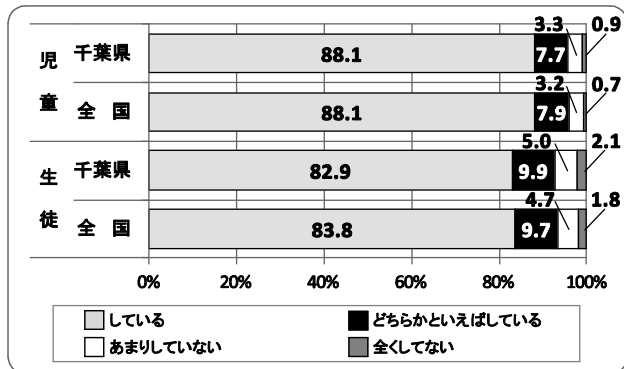
肯定的回答の割合は，児童は全国と比べてやや低く，生徒はやや高い。自分の考えを発表する機会が与えられていたと思っている児童生徒ほど，正答率が高い傾向が見られる。

イ 生活習慣

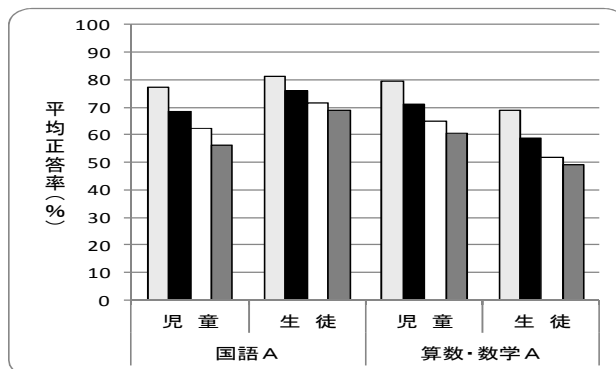
質問番号	児童 生徒	質 問 事 項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
			千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
1	1	朝食を毎日食べていますか	95.8	-0.2		92.8	-0.7	
2	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.5	1.3		73.7	-0.4	
3	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.0	0.1		92.4	0.3	

1 朝食を毎日食べていますか

【平成26年度調査結果】

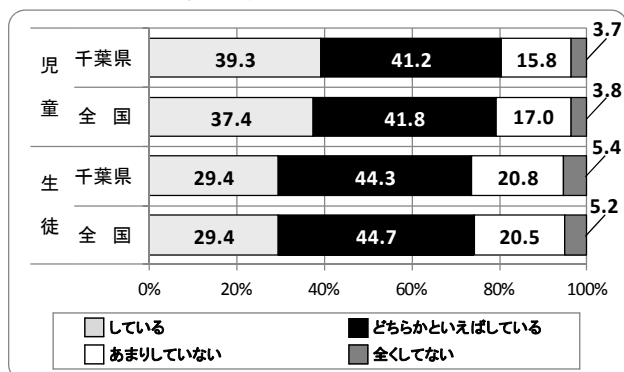


【回答結果と正答率の関連】

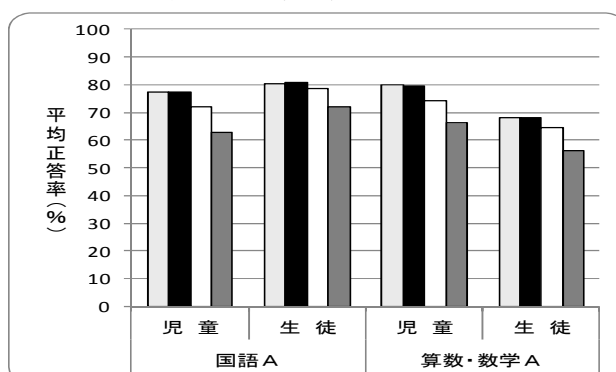


2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

【平成26年度調査結果】

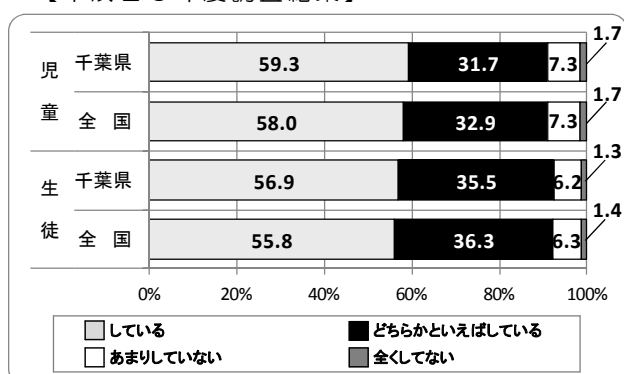


【回答結果と正答率の関連】

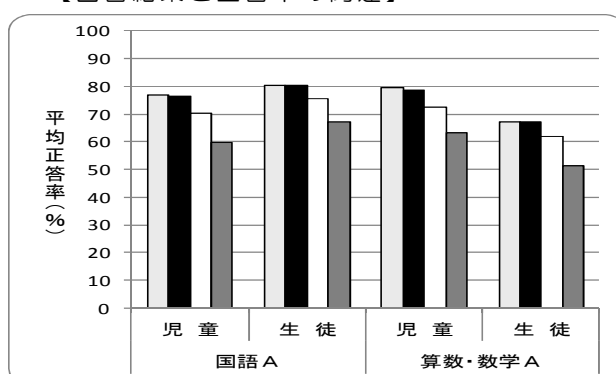


3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、ともに 90%を超えており、全国とほぼ同程度である。毎日、同じくらいの時刻に寝ていると回答した割合は、児童は全国と比べてやや高く、生徒は全国と同程度である。毎日、同じくらいの時刻に起きていると回答した割合は、児童生徒ともに全国と同程度である。

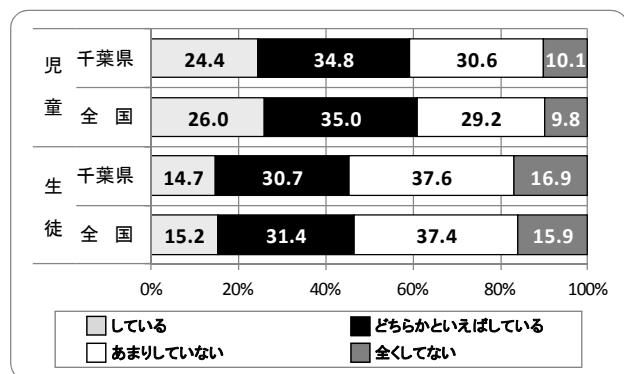
全ての質問事項において、肯定的回答をした児童生徒ほど正答率が高く、特に「朝食を毎日食べていますか」という質問ではその傾向が顕著である。

ウ 学習習慣

質問番号 児童 生徒	質問事項	児童(肯定的回答)			生徒(肯定的回答)		
		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
21	21 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	59.2	-1.8		45.4	-1.2	
22	22 家で、学校の宿題をしていますか	96.2	-0.3		84.7	-3.5	
23	23 家で、学校の授業の予習をしていますか	43.2	0.0		34.8	0.6	
24	24 家で、学校の授業の復習をしていますか	50.0	-4.0		49.1	-1.3	

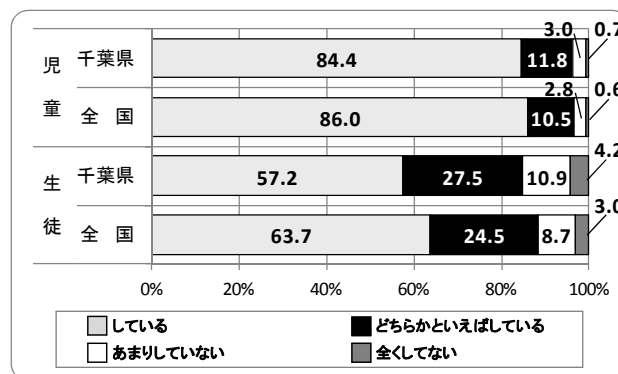
21	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
----	-----------------------

【平成26年度調査結果】



22	家で、学校の宿題をしていますか
----	-----------------

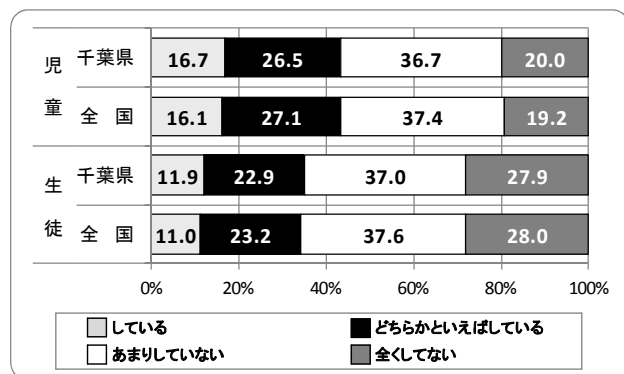
【平成26年度調査結果】



家で計画を立てて勉強をしている割合は、児童生徒ともに全国と比べてやや低い。家で学校の宿題をしている割合は、児童は全国と同程度であるが、生徒は全国と比べてやや低い。児童生徒ともに、計画を立てて勉強している割合が宿題をしている割合よりも約40ポイント低いことから、学習に対して能動的に取り組む姿勢が足りないことがうかがえる。

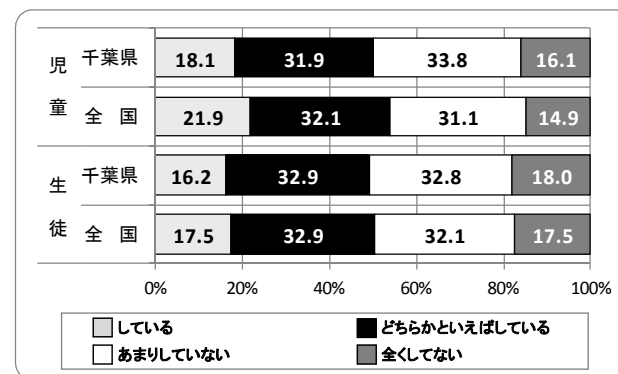
23	家で、学校の授業の予習をしていますか
----	--------------------

【平成26年度調査結果】



24	家で、学校の授業の復習をしていますか
----	--------------------

【平成26年度調査結果】



家で授業の予習をしている割合は、児童は全国とほぼ同程度であり、生徒は全国よりやや高いが、児童生徒ともに50%に満たない状況である。家で授業の復習をしている割合は、児童生徒ともに全国と比べてやや低く、児童の方が全国との差が大きい。復習をしている児童と生徒の割合については、ほとんど差は見られない。しかし、予習については、「している」と回答した生徒の割合が児童より8.4ポイント低い。

(2) 学校質問紙調査

① 教科指導

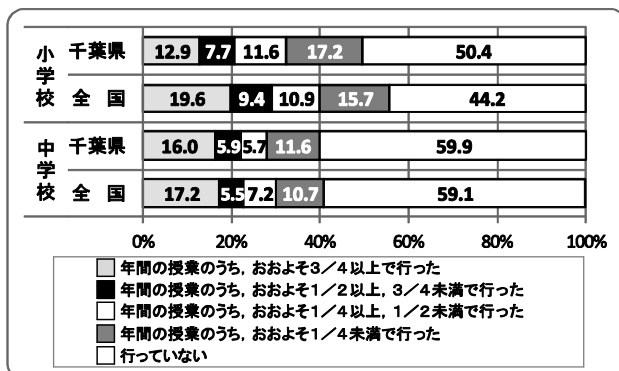
ア 個に応じた指導

質問番号	質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
52	52 国語の授業において、前年度に、習熟度別に少人数による指導を行いましたか(新規)	2.7	-0.4		1.8	-1.8	
53	53 算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	20.6	-8.4	▼	21.9	-0.8	
54	54 算数・数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	13.2	-8.2	▼	16.5	-1.7	
55	55 算数・数学の授業において、児童が第4学年・生徒が第1学年のときに、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	16.2	-7.6	▼	15.7	-1.1	
56	56 算数・数学の授業において、児童が第4学年・生徒が第1学年のときに、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	11.5	-6.6	▼	12.4	-1.0	
57	57 国語の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか	2.3	-2.0		3.3	-2.6	
58	58 算数・数学の授業において、前年度に、ティームティーチングによる指導を行いましたか	29.2	-1.0		38.3	7.9	△

※52～58の「肯定的回答の割合」とは、年間の授業のうちおおよそ、「3/4以上」、「1/2～3/4」で行ったと回答した割合の合計である。

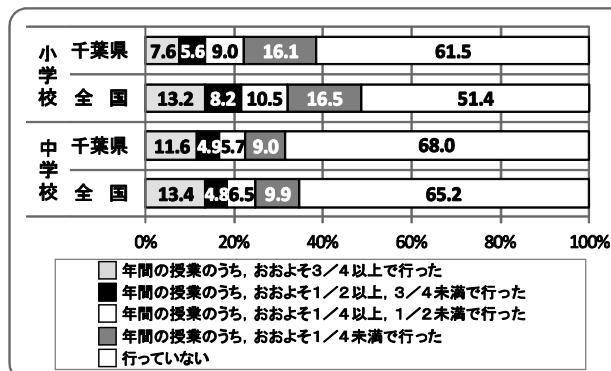
53	算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしましたか
----	--

【平成26年度調査結果】

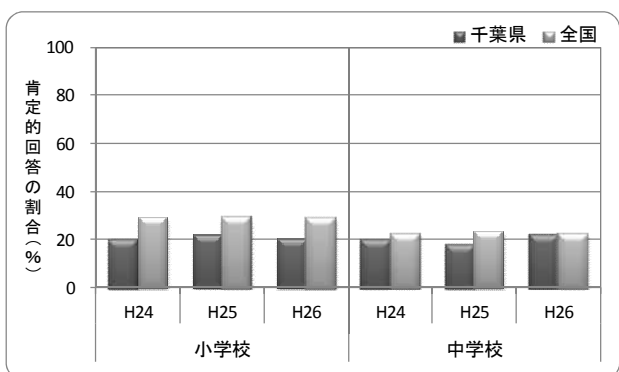


54	算数・数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに少人数指導を行い、発展的な内容を扱いましたか
----	--

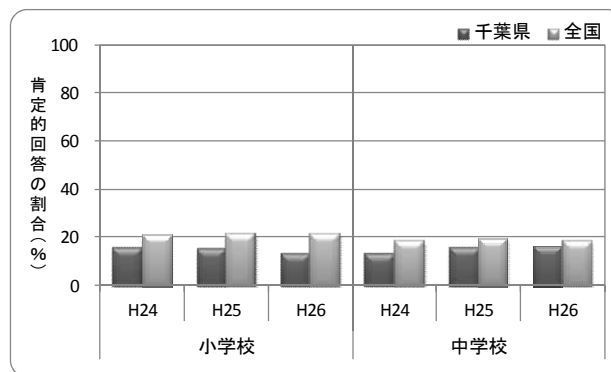
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【経年変化】



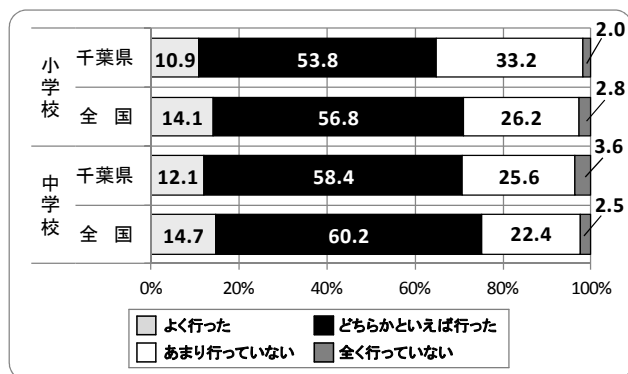
算数・数学の授業における少人数指導について、「年間の授業のうちおおよそ 1/2 以上で行った」割合は、小中学校ともに全国を下回っており、中学校よりも小学校の方が全国との差が大きい。小中学校ともに、習熟の早いグループに対する少人数指導を行った割合よりも、習熟の遅いグループに対する少人数指導を行った割合の方が高い。

イ 国語科の指導法

質問番号		質 問 事 項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
59	59	国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	64.7	-6.2	▼	70.5	-4.4	
60	60	国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	41.7	1.0		64.3	8.3	△
61	61	国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	88.8	0.6		80.6	-0.9	
62	62	国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	87.0	-3.6		91.5	-2.1	
63	63	国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	84.1	0.9		85.8	-0.3	
64	64	国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	96.6	-1.2		98.7	0.4	

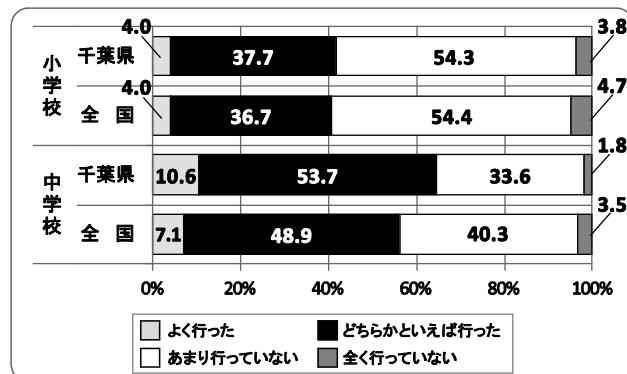
59 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか

【平成26年度調査結果】

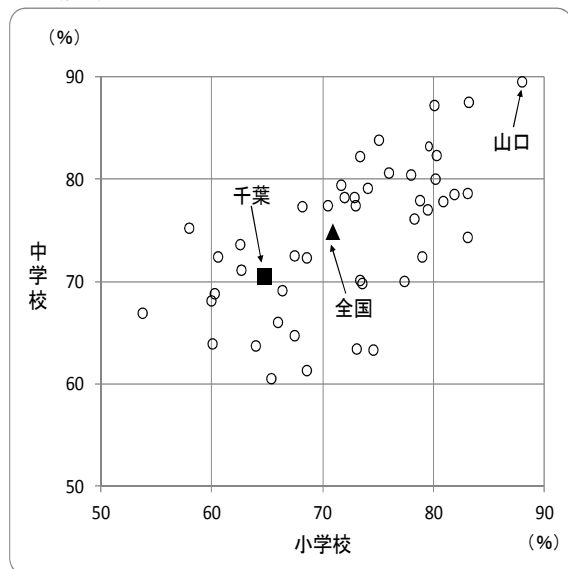


60 国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

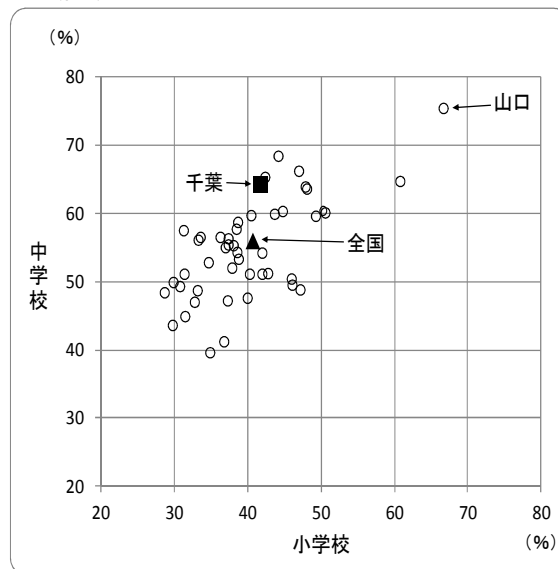
【平成26年度調査結果】



【散布図】



【散布図】



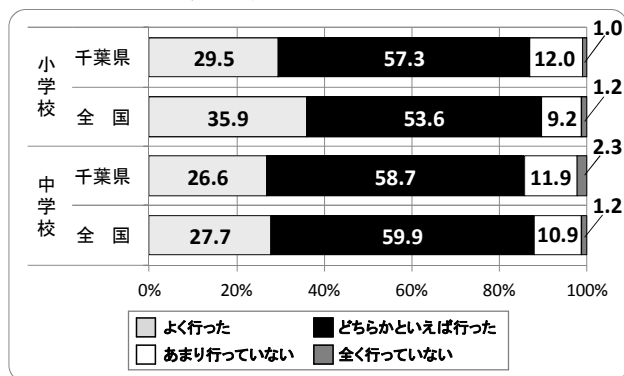
補充的な学習の指導を行った割合は、小中学校ともに全国を下回っており、全国の中でも下位に位置している。発展的な学習の指導を行った割合は、小学校は全国と同程度であり、中学校は全国と比べて高く上位に位置している。中学校において発展的な学習の指導を行った割合は、小学校よりも22.6ポイント高い。小中学校ともに、発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

ウ 算数・数学科の指導法

質問番号		質 問 事 項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
小	中		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
66	65	算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	86.8	-2.7		85.3	-2.3	
67	66	算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	54.7	-3.6		64.8	3.5	
68	67	算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	63.9	-2.3		64.1	3.3	
69	68	算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	97.2	-0.2		97.4	1.6	

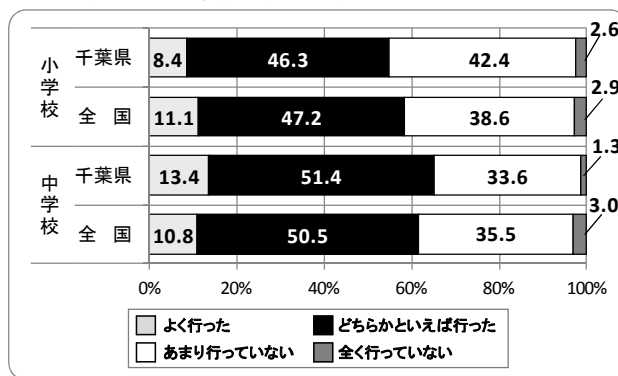
小 66 中 65	算数・数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
--------------	-------------------------------------

【平成26年度調査結果】

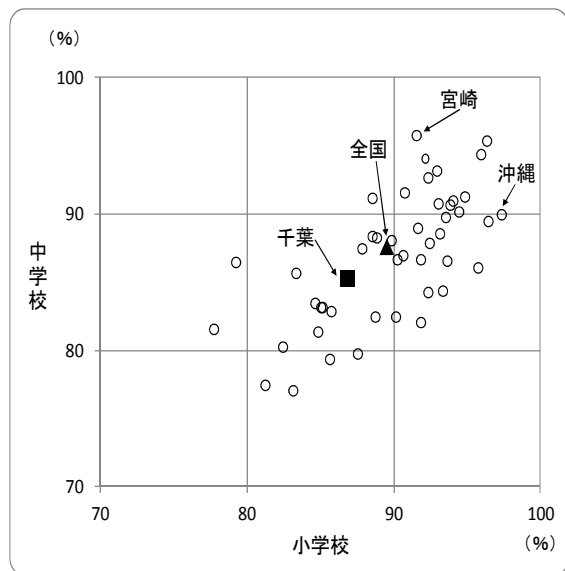


小 67 中 66	算数・数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか
--------------	-------------------------------------

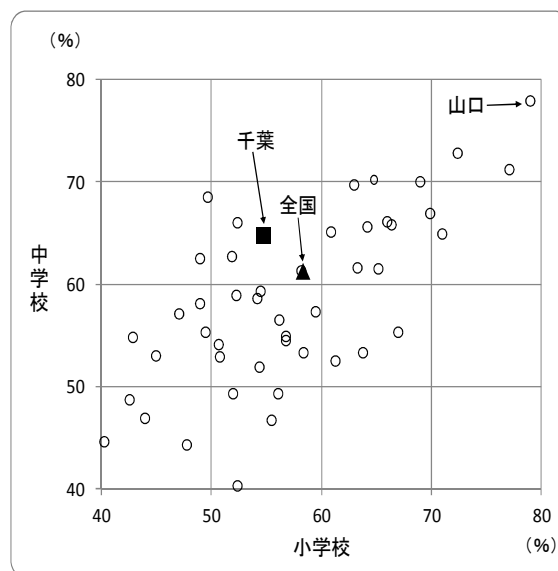
【平成26年度調査結果】



【散布図】



【散布図】



補充的な学習の指導を行った割合は、小中学校ともに80%を超えているが、全国を下回っている。発展的な学習の指導を行った割合は、小学校は全国と比べてやや低く、中学校はやや高い。中学校で発展的な学習の指導を行った割合は、小学校よりも10.1ポイント高く、全国の中でも上位に位置している。小中学校ともに、発展的な学習の指導を行った割合よりも補充的な学習の指導を行った割合の方が高い。

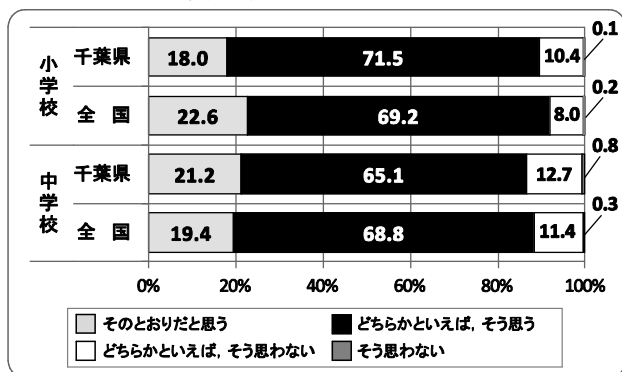
② 学力向上

ア 児童生徒の状況

質問番号	小	中	質 問 事 項	小学校(肯定的回答)		中学校(肯定的回答)	
				千葉(%)	全国との差	千葉(%)	全国との差
15	15		児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	89.5	-2.3	86.3	-1.9
16	16		児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	87.3	-2.4	92.0	-0.1
18	18		児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	66.4	-3.6	67.4	1.8
19	19		児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	82.5	-0.8	84.0	0.6
20	20		児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか(新規)	59.3	-4.5	62.0	-1.8

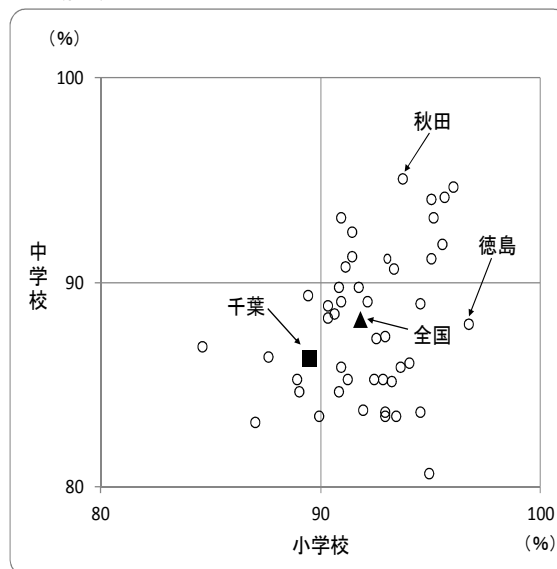
15 児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

【平成26年度調査結果】



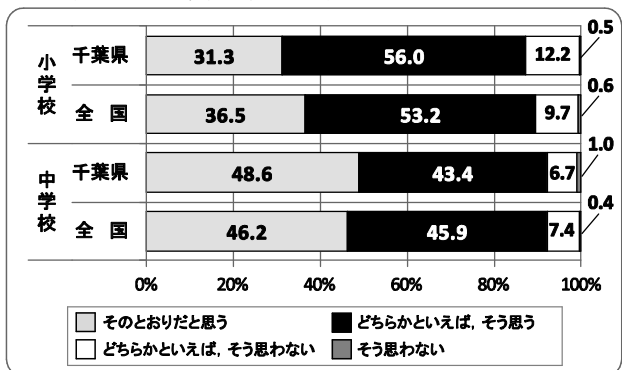
肯定的回答の割合は、小中学校ともに80%を超えているが、全国と比べてやや低い。小学校は、全国の中でも下位に位置している。

【散布図】



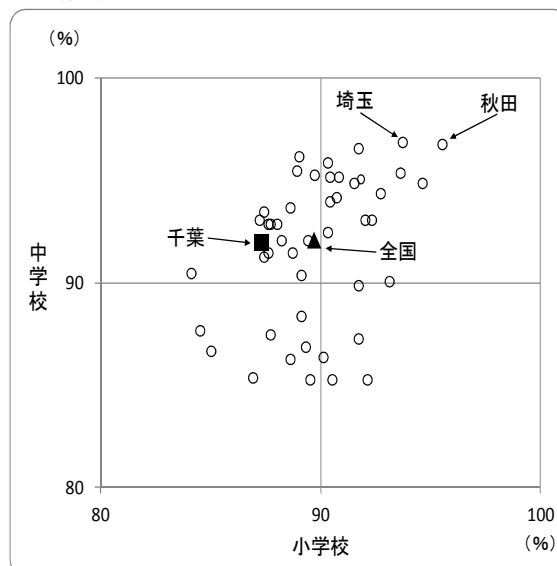
16 児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【平成26年度調査結果】



肯定的回答の割合は、小中学校ともに80%を超えているが、小学校は全国と比べてやや低く、中学校は全国と同程度である。

【散布図】



イ 学力向上に向けた取組・指導方法

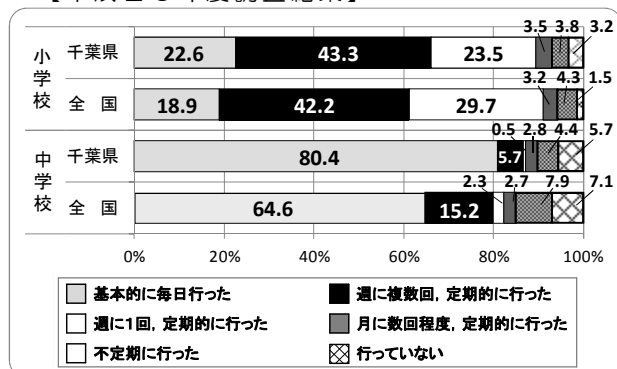
質問番号	質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
		千葉県(%)	全国との差		千葉県(%)	全国との差	
23	23 前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	92.9	-1.1		89.4	4.6	
24	24 前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	96.3	-0.7		88.9	3.5	
25	25 前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	44.3	-18.0	▼	89.3	2.5	
26	26 前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	1.4	-2.5		3.6	-5.7	▼
27	27 前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか (実施した日数の累計)	41.5	-24.4	▼	81.4	-2.9	
28	28 前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか	97.4	0.5		97.9	3.9	
29	29 前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	93.7	2.1		90.4	1.2	
30	30 前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	90.5	0.3		85.0	0.1	
31	31 前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	94.8	0.9		93.0	1.9	
32	32 前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	97.4	0.5		96.7	3.4	
33	33 前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	70.4	-1.6		92.8	-1.4	
34	34 前年度までに、学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童・生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	97.3	0.4		97.9	1.4	
35	35 前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	95.3	-0.9		97.7	1.1	
36	36 前年度までに、学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしましたか	97.6	0.2		97.2	0.1	
37	37 前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	91.9	0.9		79.8	-2.9	
38	38 前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	96.8	1.4		89.7	1.5	
39	39 前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	93.6	2.6		81.4	3.2	
40	40 前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	90.4	4.6		77.8	-0.3	
41	41 前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	89.9	-0.7		85.7	-0.8	
42	42 前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	78.6	-1.1		70.0	-9.6	▼
43	43 前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起きている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか(新規)	68.7	-4.6		58.1	-5.3	▼

※23の「肯定的回答」とは、「毎日」、「週に複数回」、「週に1回」、「月に数回」行ったと回答した割合の合計である。

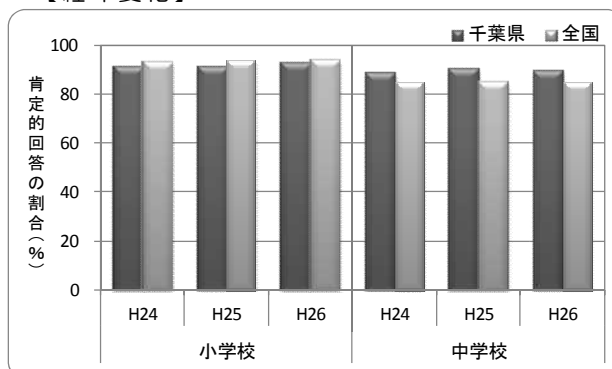
※24～27の「肯定的回答」とは、「行っ」と回答した割合の合計である。

23 前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか

【平成26年度調査結果】



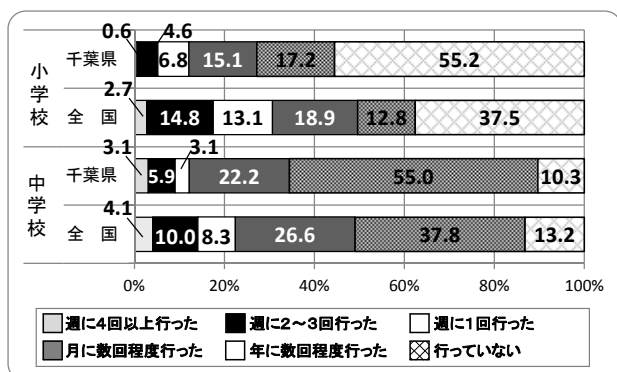
【経年変化】



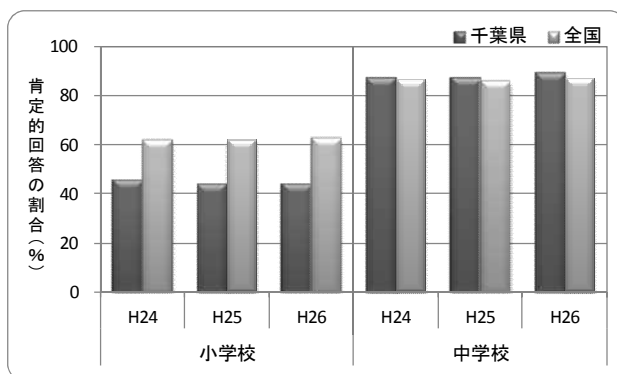
「月に数回程度以上行っ」と回答した割合は、小学校は全国と比べてやや低く、中学校は高い。平成24年度以降、同様の状況が続いている。中学校は、「基本的に毎日行っ」割合が80%を超えている。

25 前年度に、放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか

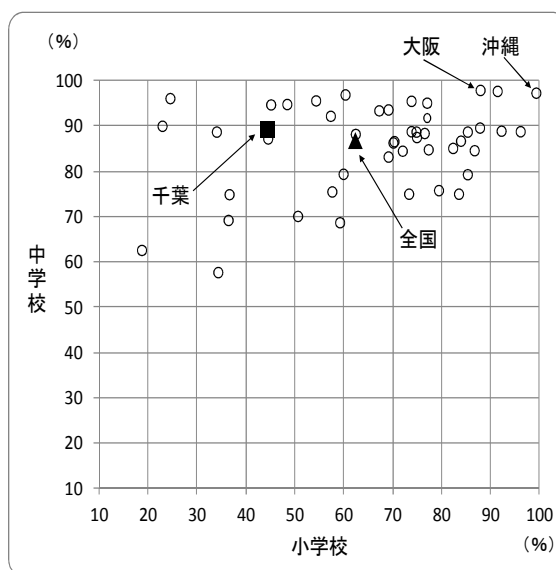
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



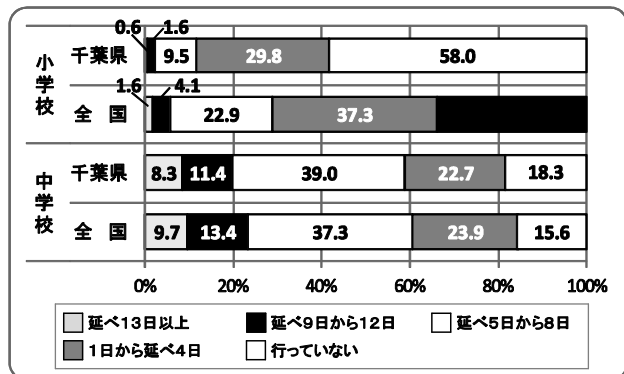
【散布図】



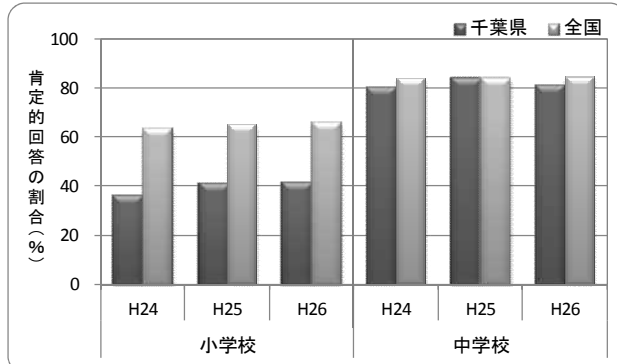
「行った」と回答した割合は、小学校は全国と比べて著しく低く、全国の中でも下位に位置している。中学校は、全国と比べてやや高く、平成24年度以降、全国平均を上回っている。

27 前年度に、長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか
(実施した日数の累計)

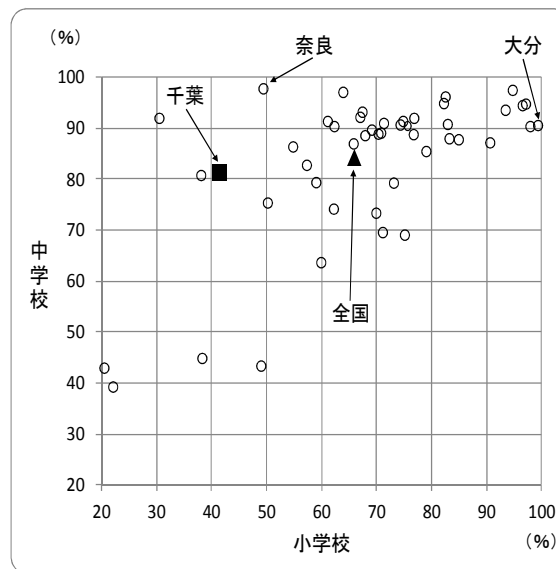
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



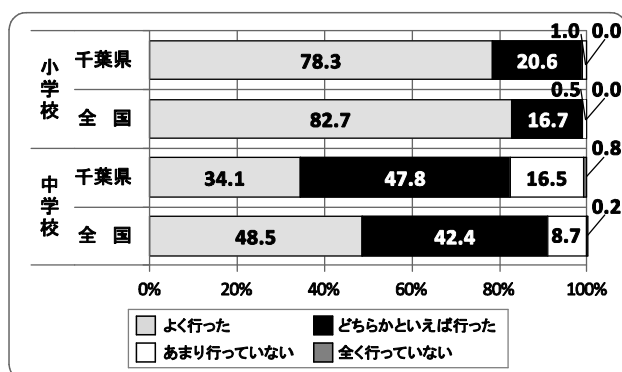
「行った」と回答した割合は、小中学校ともに全国平均を下回っている。小学校は、全国と比べて著しく低く、全国の中でも下位に位置している。中学校は、全国と比べてやや低い。

ウ 家庭学習

質問番号	質 問 事 項		小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
			千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
80	78	前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	98.9	-0.5		81.9	-9.0	▼
81	79	前年度までに、国語の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	96.4	-1.4		91.7	-2.1	
82	80	前年度までに、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	99.1	-0.4		85.3	-8.0	▼
83	81	前年度までに、算数・数学の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか	97.3	-0.7		90.7	-3.2	
84	82	前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語/算数・数学共通)	92.0	-3.9		83.5	-1.9	
85	83	前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	72.1	-13.3	▼	70.8	-6.1	▼
86	84	前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	69.9	-7.9	▼	57.6	-6.6	▼
87	85	前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(国語/算数・数学共通)	78.7	-9.5	▼	76.4	-8.4	▼

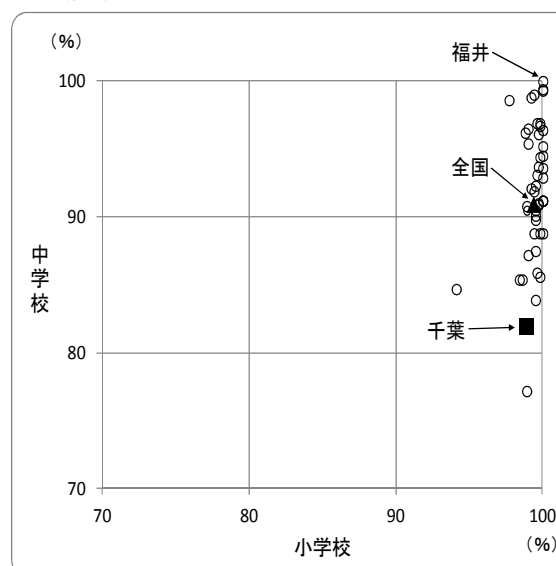
小 80/中 78	前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか
-----------	------------------------------------

【平成26年度調査結果】



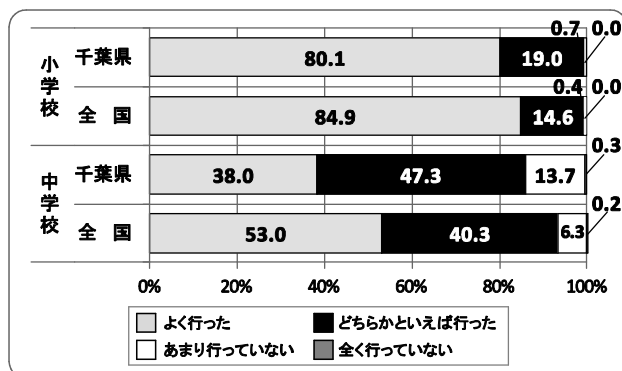
肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国平均を下回っている。特に中学校は全国との差が-9.0ポイントであり、全国の中でも極めて下位に位置している。

【散布図】



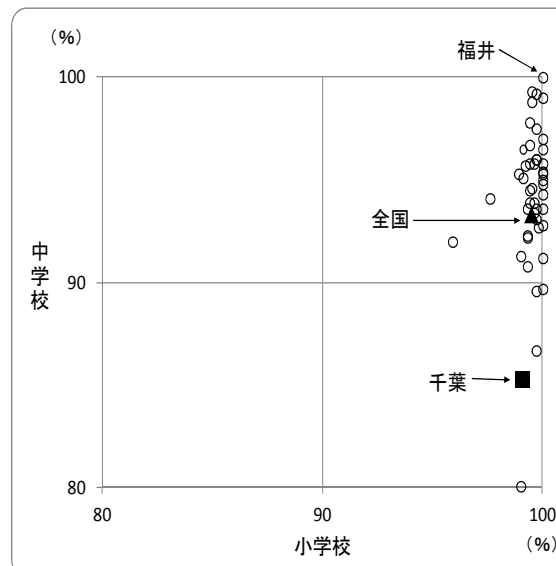
小 82/中 80	前年度までに、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか
-----------	---------------------------------------

【平成26年度調査結果】



肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国平均を下回っている。特に中学校は全国との差が-8.0ポイントであり、全国の中でも極めて下位に位置している。

【散布図】



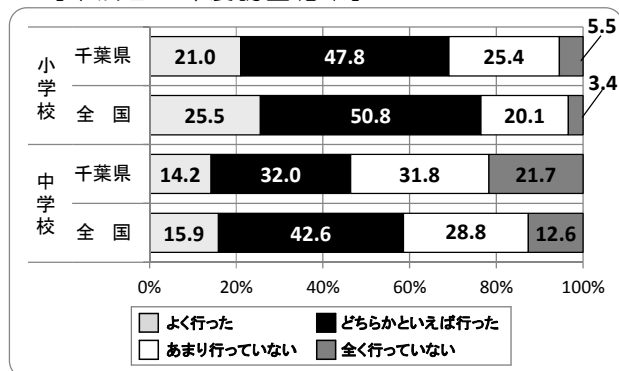
③ 学校経営

ア 地域の人材・施設の活用

質問番号	質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
73	71 前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	68.8	-7.5	▼	46.2	-12.3	▼
74	72 前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)を行いましたか	44.1	3.0		24.0	-0.2	
75	73 前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	42.8	5.4	△	12.1	-2.9	
76	74 職場見学や職場体験活動を行っていますか	77.6	32.7	△	98.2	-0.3	
77	75 PTAや地域の人が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか	97.2	0.4		96.4	1.8	
78	76 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	88.1	5.4	△	74.5	7.3	△
79	77 保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	96.2	1.5		89.6	2.0	

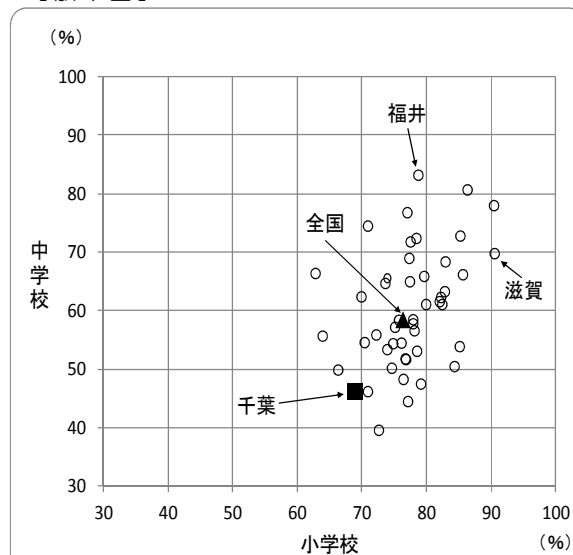
小 73/中 71 前年度までに、地域人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

【平成26年度調査結果】



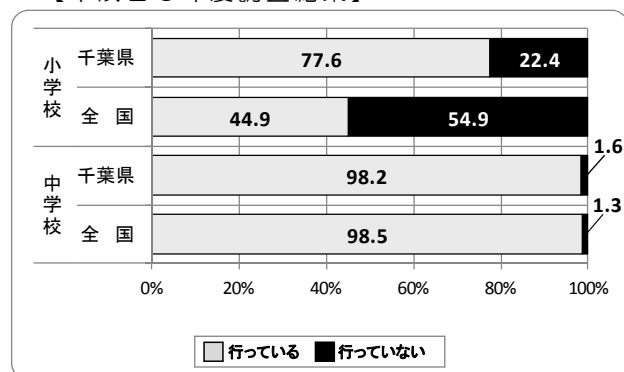
肯定的回答の割合は、小学校は全国と比べて低く、中学校は著しく低い。小中学校ともに、全国の中でも下位に位置している。

【散布図】

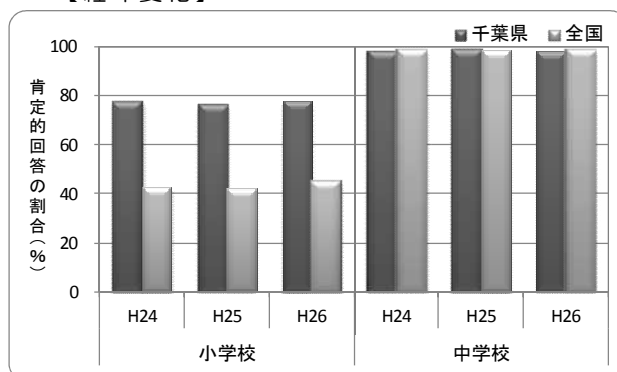


小 76/中 74 職場見学や職場体験活動を行っていますか

【平成26年度調査結果】



【経年変化】



肯定的回答の割合は、小学校は全国と比べて著しく高く、中学校は全国と同程度である。小学校は、平成24年度以降、全国平均を大きく上回っている。

イ 教員研修・教職員の取組

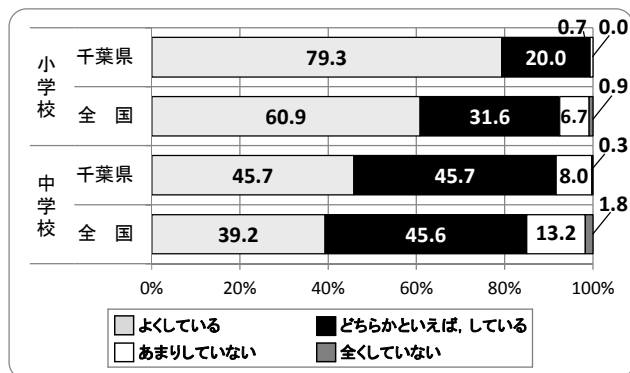
質問番号	質問事項	小学校(肯定的回答)			中学校(肯定的回答)		
		千葉(%)	全国との差		千葉(%)	全国との差	
88	86 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	99.3	6.8	△	91.4	6.6	△
89	87 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	93.9	-1.0		83.7	-3.0	
90	88 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	93.3	-2.9		89.9	-2.8	
91	89 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	61.9	-7.1	▼	28.1	-17.0	▼
92	90 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	96.1	0.6		88.9	-1.9	
93	91 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力合っていますか	94.5	-0.6		96.1	2.5	
94	92 知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	83.7	-0.1		82.6	0.1	
95	93 言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	89.3	1.1		80.1	-0.4	
96	94 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか(新規)	84.8	-3.4		69.2	-6.7	▼
97	95 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか(新規)	89.4	-0.9		83.5	-1.9	
98	96 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか	98.9	0.3		95.9	-1.4	
99	97 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	97.9	-0.3		96.4	-0.8	
100	98 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか(新規)	96.8	-0.5		94.3	-1.5	
101	99 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	93.8	2.2		85.8	6.5	△

※91(小)、89(中)の「肯定的回答の割合」とは、「年間7回以上実施した」と回答した割合である。

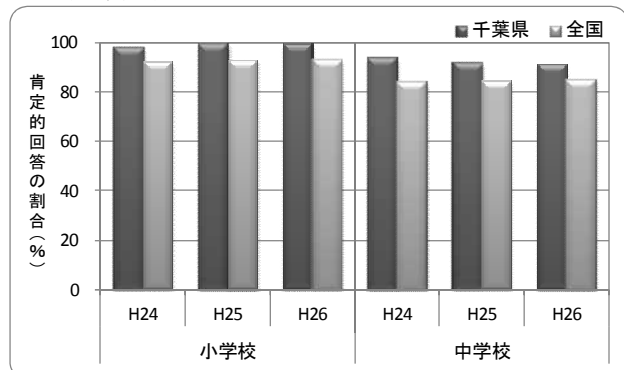
※100と101(小)、98と99(中)の「肯定的回答の割合」とは、「ほぼ毎日」、「週に2〜3日程度」と回答した割合の合計である。

小 88/中 86	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか
-----------	----------------------------------

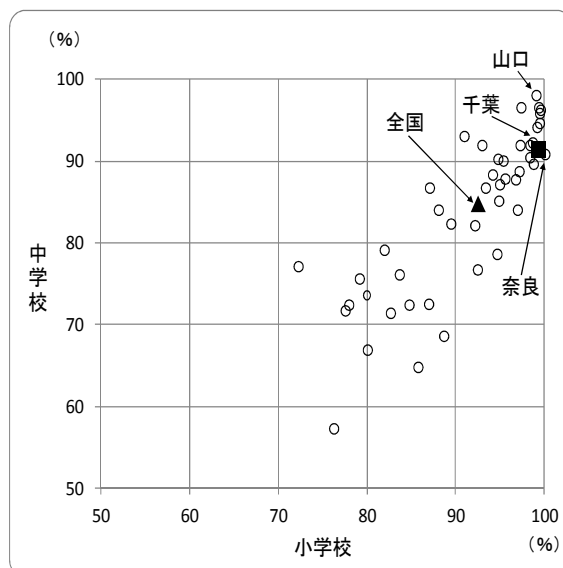
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



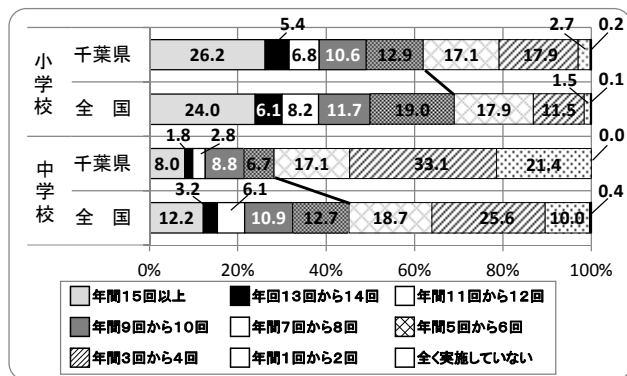
【散布図】



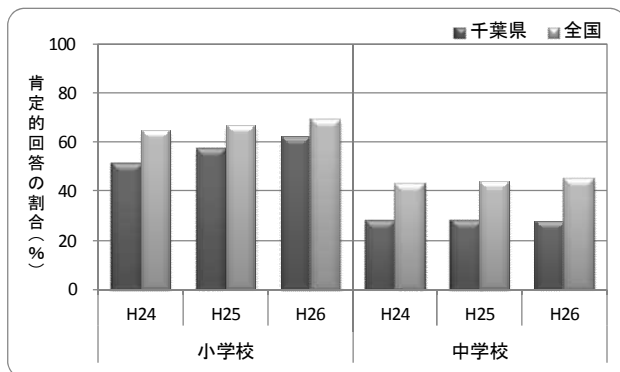
肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて高く、平成24年度以降全国平均を上回っている。特に小学校は、全国の中でも上位に位置している。

小 91/中 89 授業研究を伴う校内研修を，前年度に何回実施しましたか

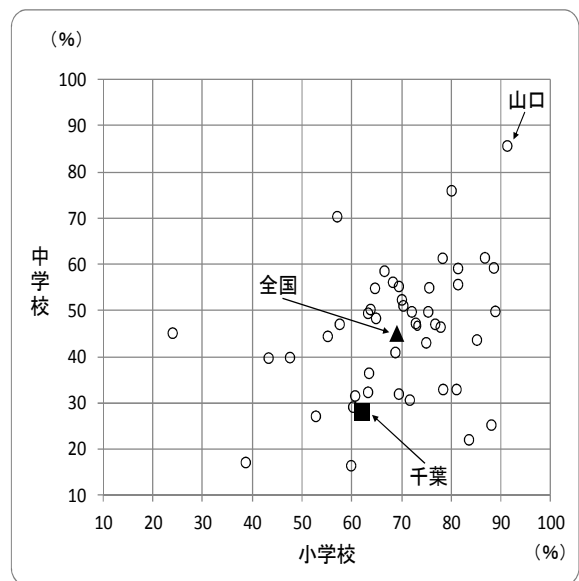
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



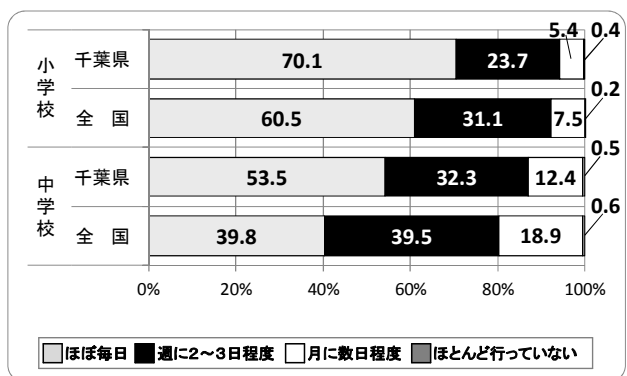
【散布図】



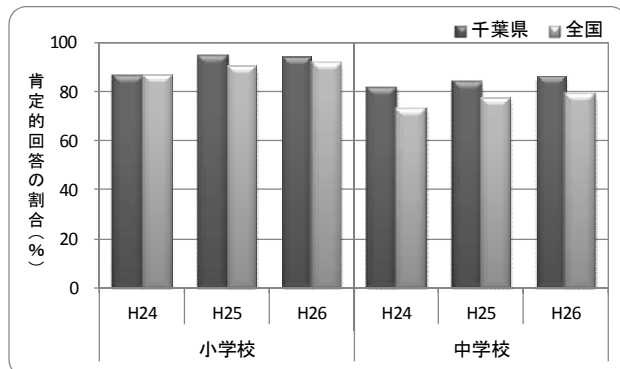
「年間7回以上実施した」と回答した割合は，小学校は全国と比べて低いが増加傾向にある。中学校は全国と比べて著しく低く，30%に満たない状況である。

小 101/中 99 校長は，校内の授業をどの程度見て回っていますか

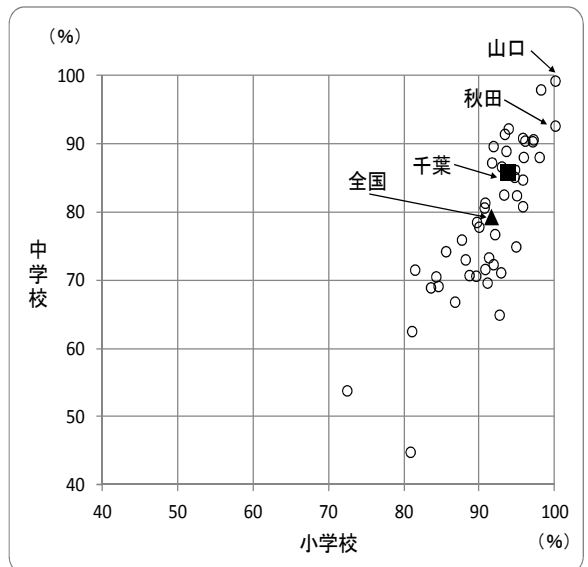
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



「週に2～3日程度以上行っている」と回答した割合は，小学校は全国と比べてやや高く，中学校は高い。平成24年度以降，小中学校ともに増加傾向が見られる。

児童生徒の家庭学習の充実に向けて

全国学力・学習状況調査結果チャート（14，15ページ参照）に見られるとおり，児童生徒質問紙における「学習習慣」の領域と学校質問紙における「家庭学習」の領域については，小中学校ともに全国を下回っている。昨年度も同様の状況が見られることから，調査結果に基づいて現状と課題を明らかにし，本県における児童生徒の学習習慣の確立や，家庭学習を充実させるための学校の取組について改善を図っていく必要がある。

（１）児童生徒質問紙調査から

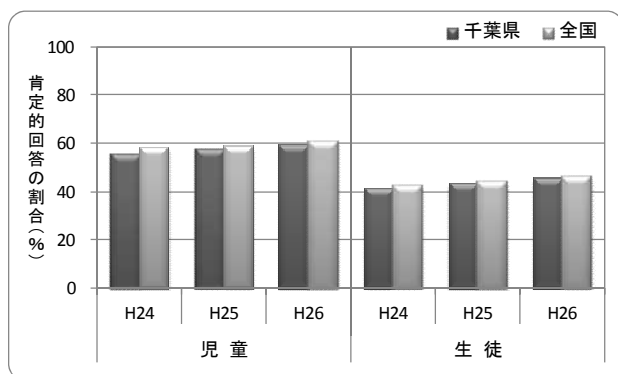
家庭における学習習慣の定着が不十分であることがわかる。児童生徒ともに，宿題に比べて計画的な勉強や予習・復習をしている割合が低く，学習態度が受動的であることがうかがえる。宿題と予習・復習のバランスのとれた，自主的・計画的な学習態度を構築する必要がある。

学習時間は全国に比べて少ない状況である。長時間勉強する児童生徒の割合は全国と比べてやや高いが，ほとんどしない割合もやや高い。また，テレビゲームや携帯電話等に多くの時間を費やす児童生徒が多くなっており，学習時間の確保に影響を及ぼしていることが考えられる。起床・就寝時刻も含め，家庭における時間の有効な活用について工夫・改善を図る必要がある。

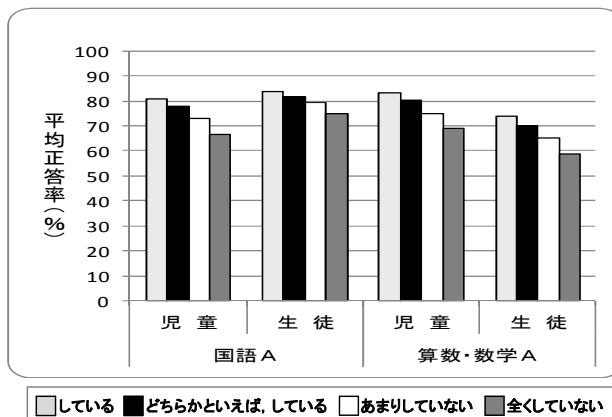
◆児童生徒の学習習慣について（平成26年度調査結果については，67ページ参照）

21 家で，自分で計画を立てて勉強をしていますか

【経年変化】



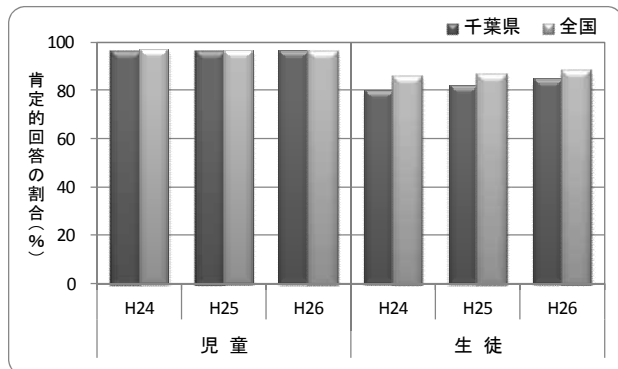
【回答結果と正答率の関連】



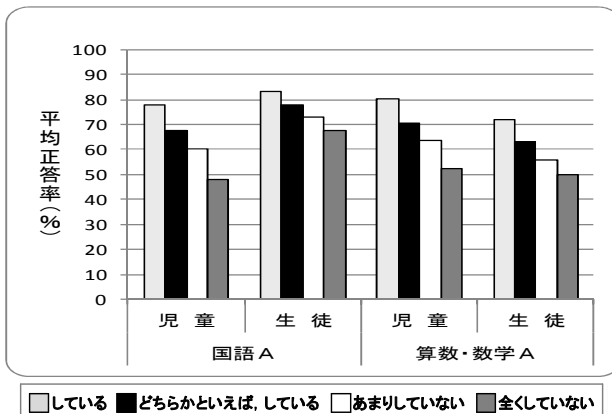
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに全国を下回っているが，年々増加傾向がうかがえる。計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

22 家で，学校の宿題をしていますか

【経年変化】



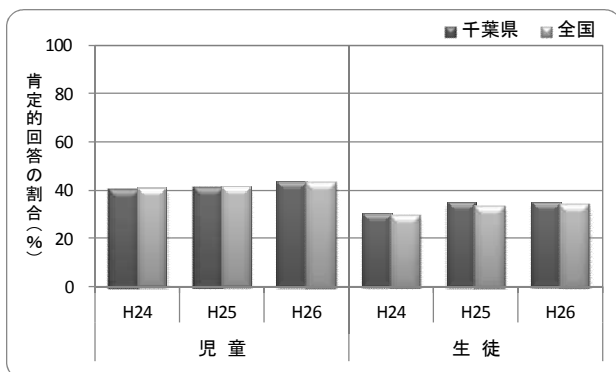
【回答結果と正答率の関連】



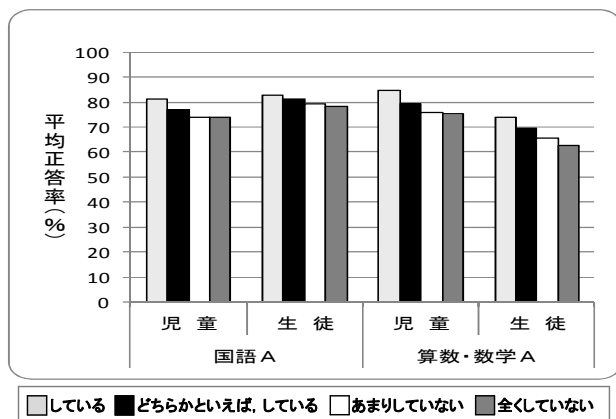
肯定的回答の割合は，児童生徒ともに80%を超えているが，全国を下回っている。生徒の方が全国との差が大きい，宿題をしている割合は年々増加している。宿題をしている児童生徒ほど正答率が高く，児童の方にその傾向がより強く見られる。

23 家で、学校の授業の予習をしていますか

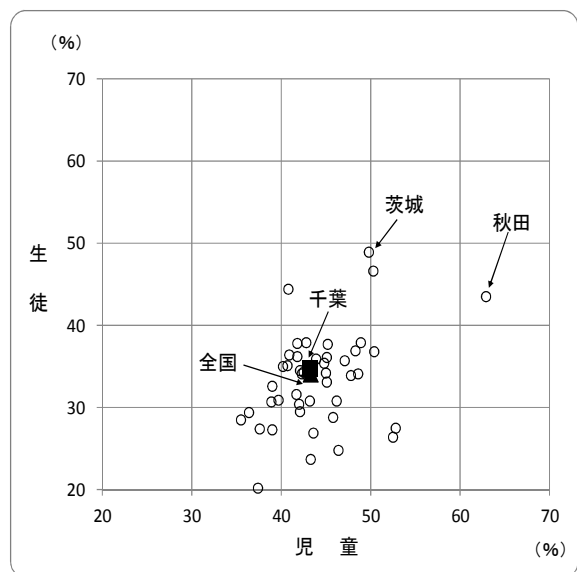
【経年変化】



【回答結果と正答率の関連】



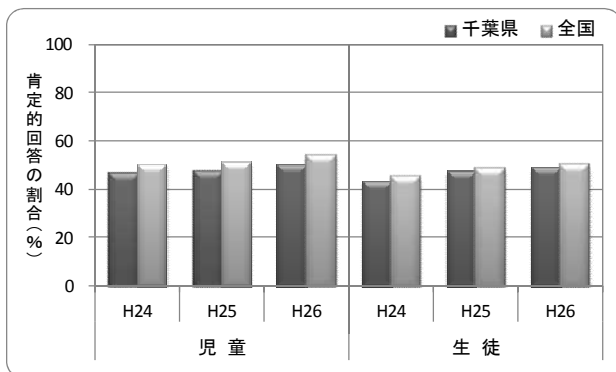
【散布図】



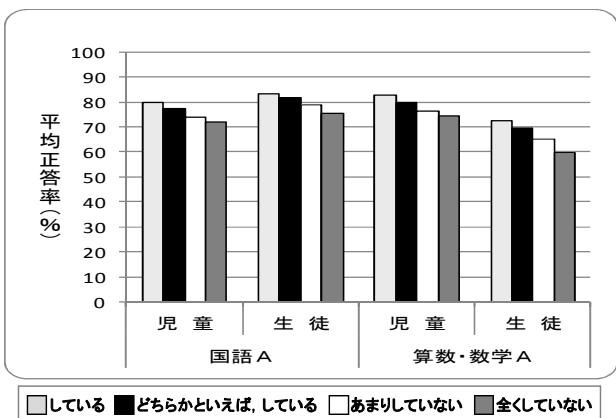
肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国と同程度であるが、生徒は、平成 24 年度以降、全国平均を上回っている。予習をしている児童生徒ほど正答率が高く、「国語 A」よりも「算数・数学 A」にその傾向が強く見られる。

24 家で、学校の授業の復習をしていますか

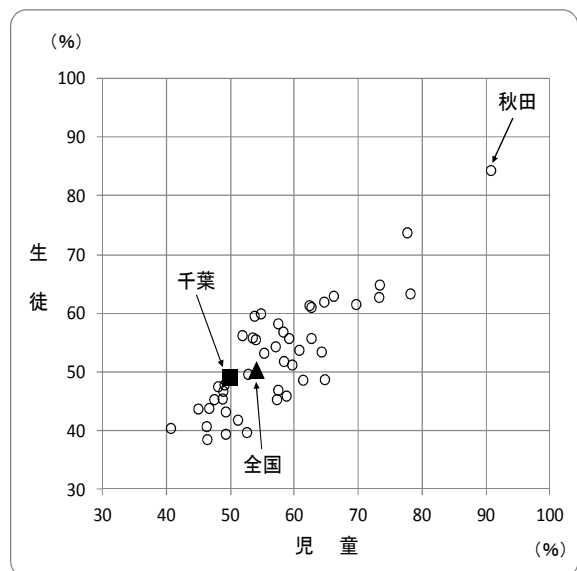
【経年変化】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】

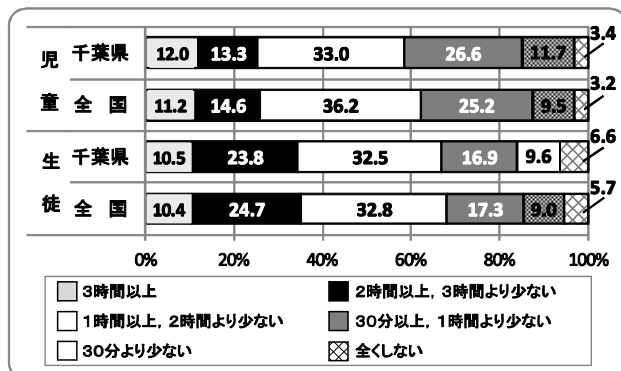


肯定的回答の割合は、児童生徒ともに全国を下回り、全国的に見て下位に位置しているが、平成 24 年度以降、増加傾向を示している。復習をしている児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

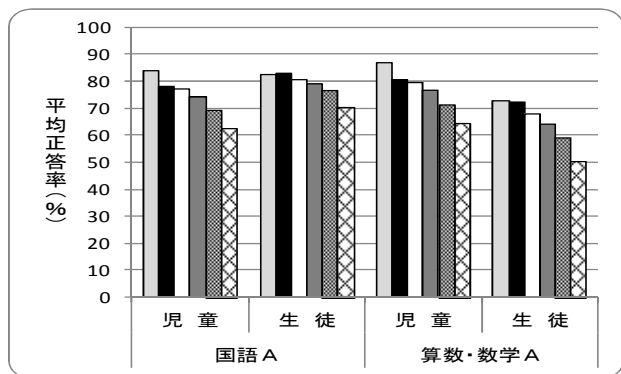
◆学習時間について

14	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
----	---

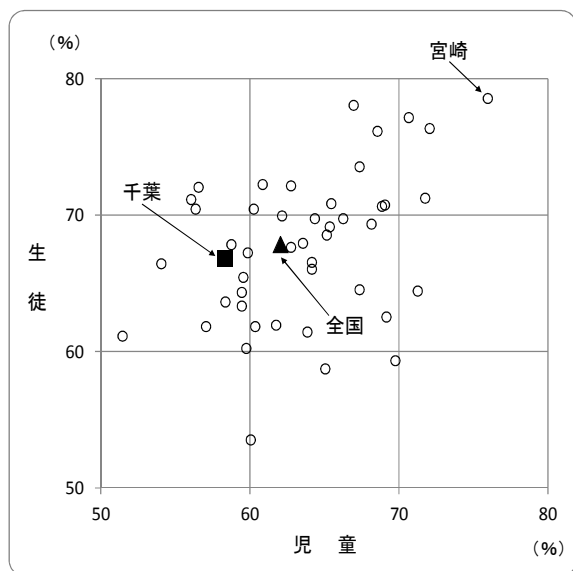
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】

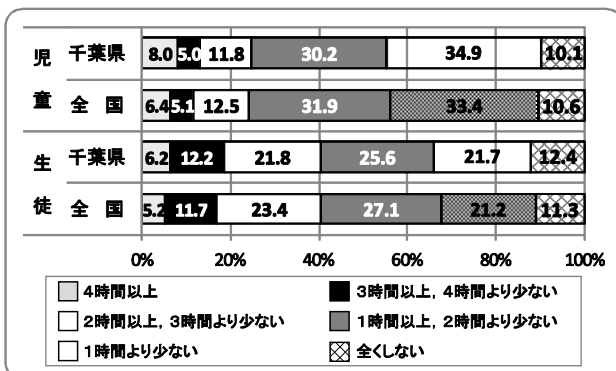


【散布図】

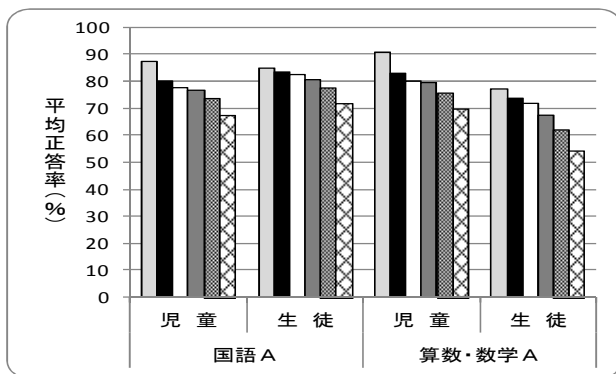


15	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
----	--

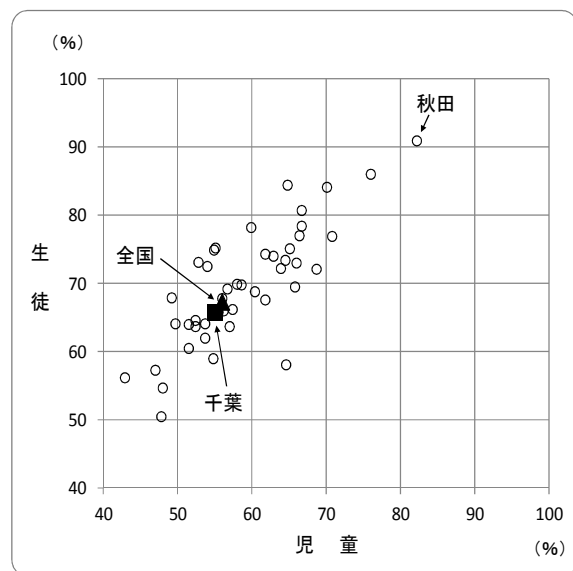
【平成26年度調査結果】



【回答結果と正答率の関連】



【散布図】



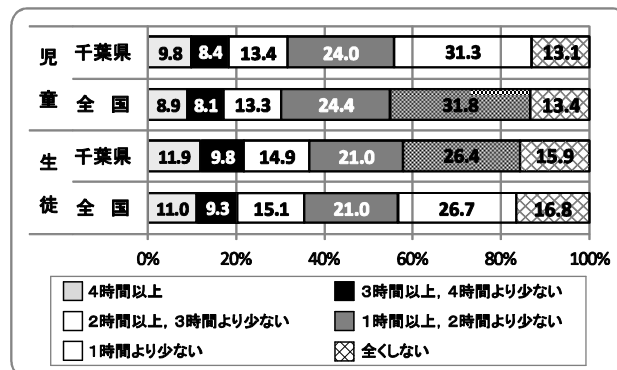
「学校の授業時間以外に、1時間以上勉強する」割合については、「普段（月～金曜日）」、「土曜日や日曜日など学校が休みの日」とともに全国平均を下回っており、全国の中でも下位に位置している。また、勉強時間が多い児童生徒ほど正答率が高い傾向が見られる。

児童生徒ともに、「普段（月～金曜日）」において、「3時間以上」と回答した割合と「30分より少ない、全くしない」と回答した割合が、それぞれわずかではあるが全国を上回る状況である。「土曜日や日曜日など学校が休みの日」においても同様の傾向が見られる。

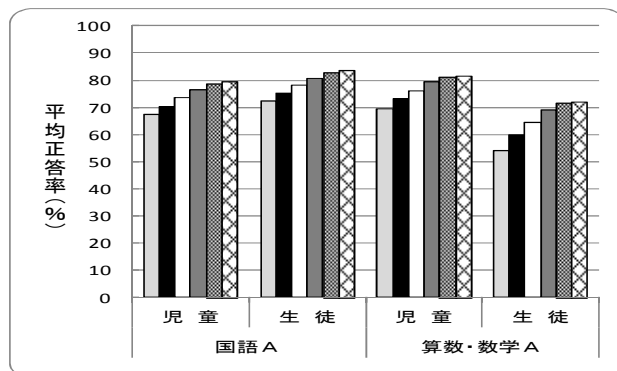
◆生活習慣について

12	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンのゲームも含む）をしますか
----	--

【平成２６年度調査結果】

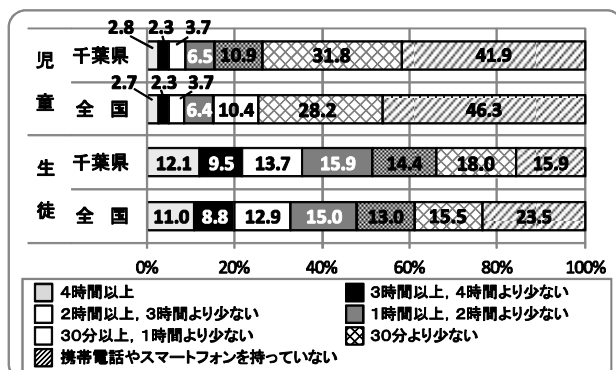


【回答結果と正答率の関連】

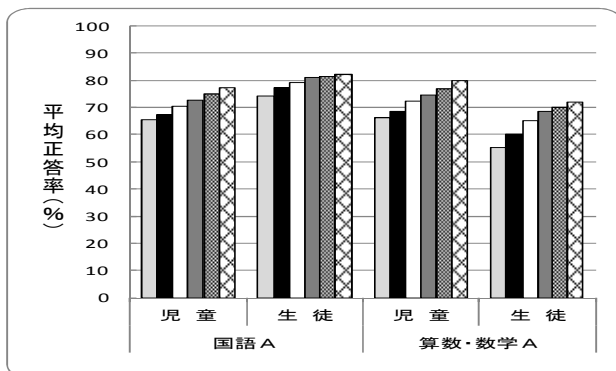


13	普段（月～金曜日），１日当たりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）
----	---

【平成２６年度調査結果】

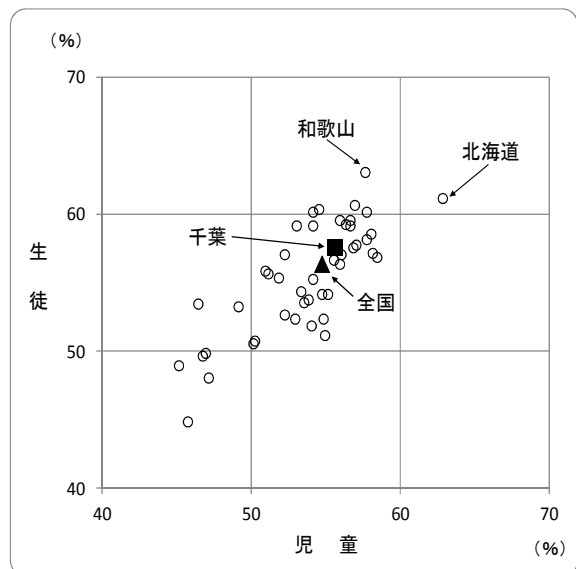


【回答結果と正答率の関連】

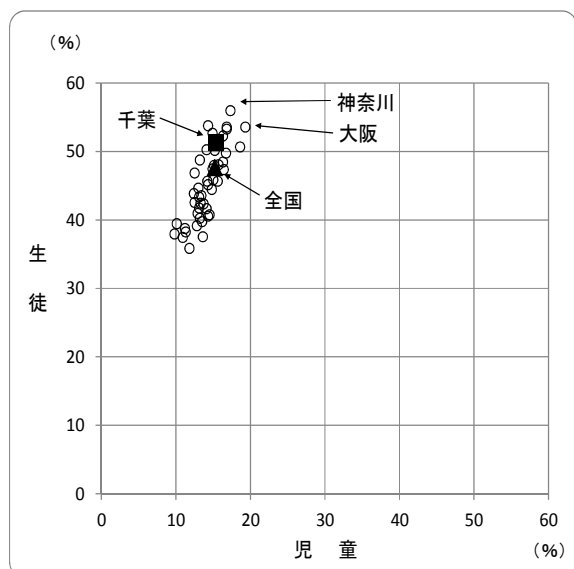


※「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した割合を除いて作成している。

【散布図】



【散布図】



「１時間以上テレビゲームをする」割合は，児童は全国と同程度であり生徒は全国と比べてやや高く、全国の中でも上位に位置している。「１時間以上携帯電話やスマートフォンを使用する」割合についても同様の状況である。携帯電話やスマートフォンについては，児童生徒ともに全国よりも所持率が高く，生徒の使用時間は全国よりも長い傾向が見られる。また全国と同様に，児童よりも生徒の方が高い所持率であり，使用時間が長くなっている状況がうかがえる。テレビゲームをする時間や携帯電話等を使用する時間が長い児童生徒ほど，正答率が低い傾向にある。

(2) 学校質問紙調査から

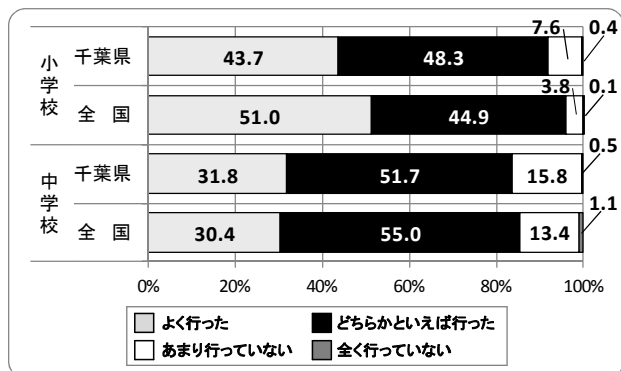
児童生徒が家庭で「宿題」をしている割合が高いという実態を踏まえると、宿題の与え方や内容・質について工夫改善を図ることは重要である。「宿題の与え方における教職員の共通理解」が全国を大きく下回る調査結果からは、宿題については学級や教科担任に任されている現状が推測され、学校全体としての基本方針に基づいた校内体制を整えることが喫緊の課題と言える。宿題の内容については、知識・理解に関わるものだけでなく、「調べたり文章を書いたりする」といった児童生徒の思考や表現活動を促すものを取り入れることも大切となってくる。

児童生徒の自主的な学習態度を育成するという観点から、学校としての働きかけについてより一層改善を図る必要がある。「家庭学習を促すような働きかけ」を行った割合は、小中学校ともに増加傾向を示しており、さらに働きかけの内容を工夫しながらそれを継続することが重要である。また、「学習の仕方」を身につけることは、能動的に学習を進める上での大切な条件である。児童生徒に「家庭での学習方法を具体的に教える」ことは、それに直結する重要なことがらであり、学校としての積極的な取組が必要である。

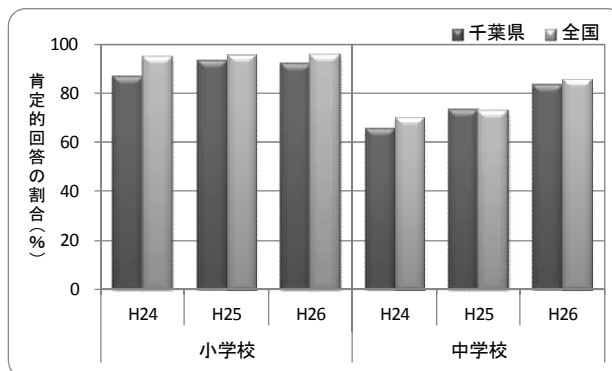
◆家庭学習に関わる学校の取組について

小 84/中 82 前年度までに、保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数・数学共通）

【平成26年度調査結果】



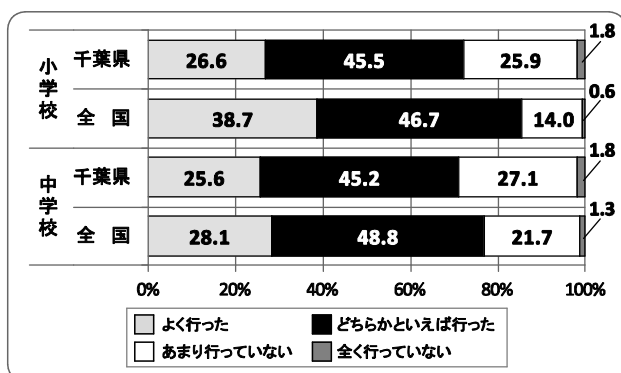
【経年変化】H24, 25 は算数・数学についての調査



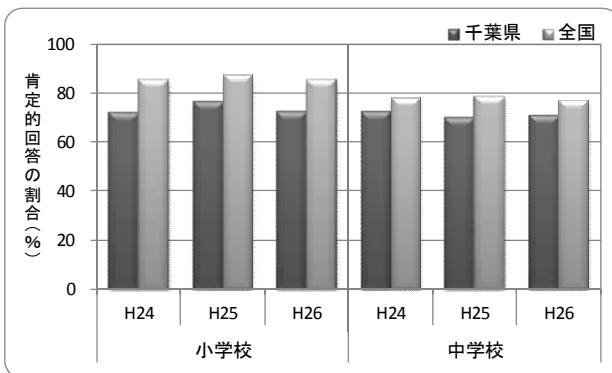
肯定的回答の割合は、平成24年度以降、小中学校ともに全国と比べてやや低い状況が続いている。家庭学習を促すような働きかけを行った割合は、中学校より小学校のほうが高いが、中学校は年々増加傾向が見られ、平成24年度よりも17.9ポイント上昇した。

小 85/中 83 前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数・数学共通）

【平成26年度調査結果】



【経年変化】H24, 25 は算数・数学についての調査

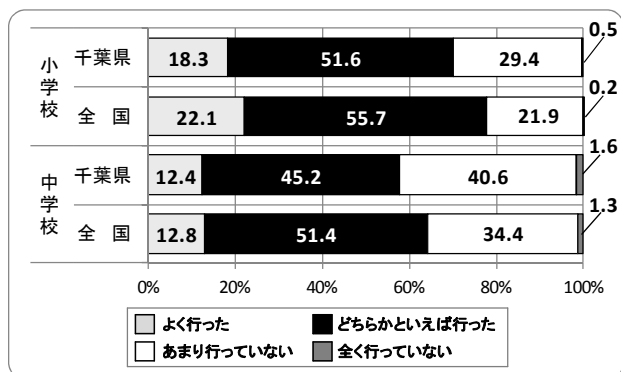


肯定的回答の割合は、平成24年度以降、小中学校ともに全国平均を下回っている。課題の与え方について共通理解を図っている割合は、小学校と中学校はほぼ同じであるが、全国と比べるとその差は、小学校が-13.3ポイント、中学校が-6.1ポイントとなっている。

小 86/中 84

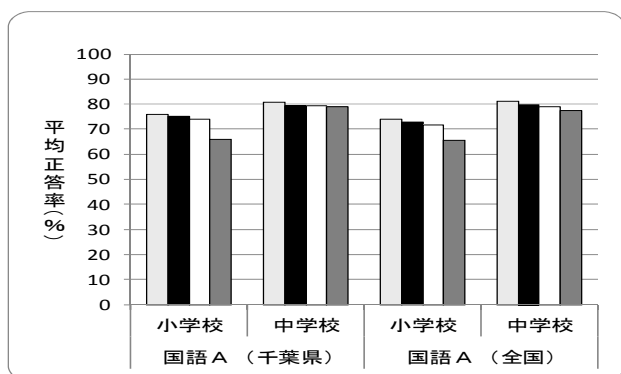
前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数・数学共通）

【平成26年度調査結果】

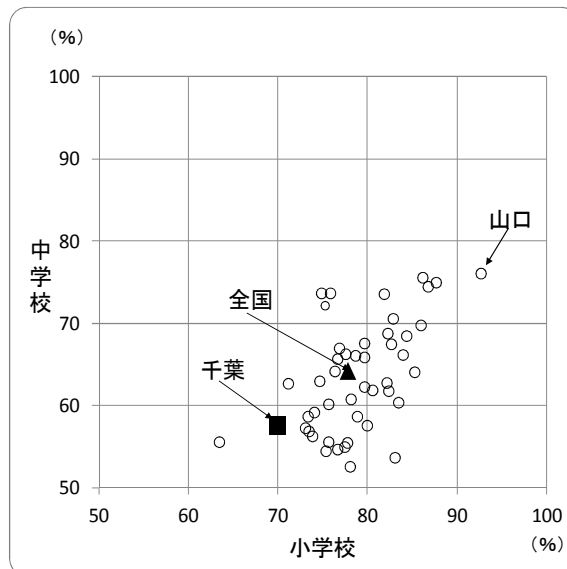


【回答結果と正答率の関連】

※選択肢ごとの学校の平均正答率を示している。



【散布図】

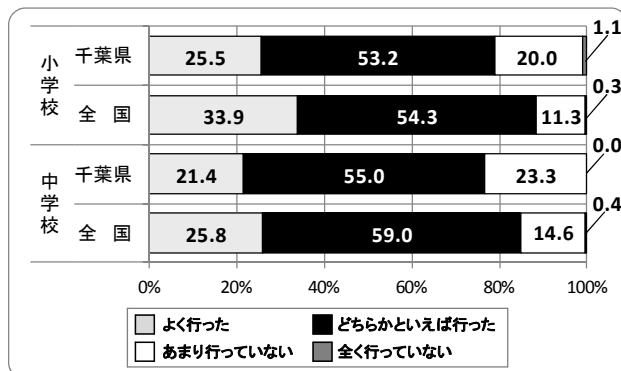


肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低く、全国の中でも下位にある。調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えた学校ほど正答率が高い傾向が見られる。小学校は全国と同様の状況であるが、中学校は全国ほどその傾向が強く表れていない。

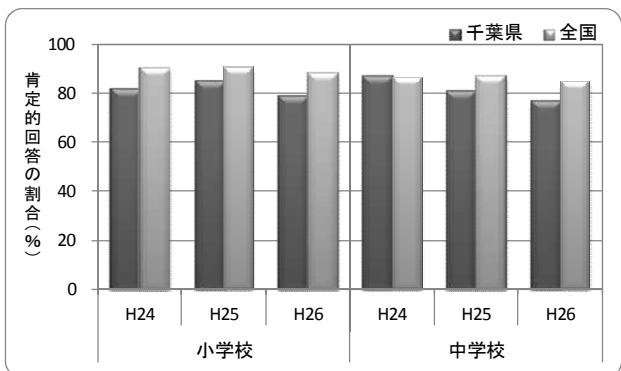
小 87/中 85

前年度までに、家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数・数学共通）

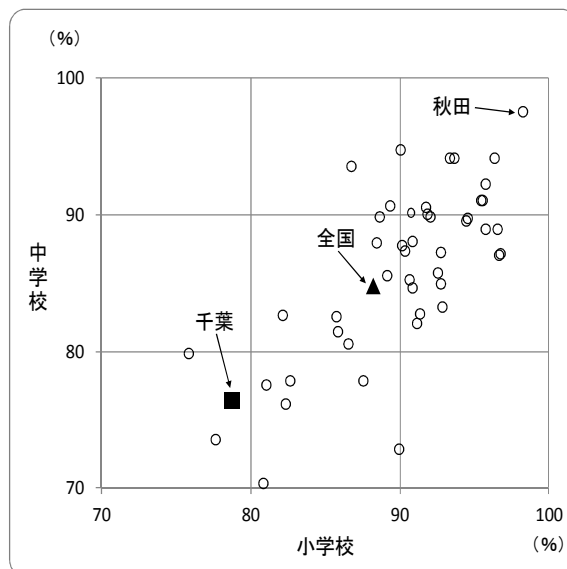
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



肯定的回答の割合は、小中学校ともに全国と比べて低く、全国の中でも下位に位置している。平成24年度以降、中学校においては、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた割合が減少している。

言語活動の充実に向けて

教科についての調査結果から、本県の児童生徒は「記述する」ことに課題が見られる。条件に沿って、まとめた文章を書くことや、筋道立てて説明すること等の力が不足していると考えられる。今一度、学習指導要領に位置付けられた言語活動、また、本県の児童・生徒、学校の実態を見つめ、検証、指導方法の改善を行い、言語活動の充実を図っていく必要がある。

【言語活動について（中央教育審議会答申より）】

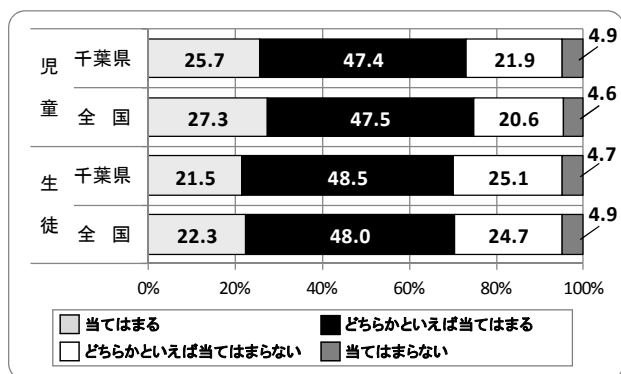
思考力・判断力・表現力を育むための学習活動の基盤となるものは、数式などを含む広い意味での言語であり、言語を通した学習活動を充実することにより「思考力・判断力・表現力等」の育成が効果的に図られることから、いずれの教科等においても、記録、要約、説明、論述などの言語活動を発達の段階に応じて行うことが重要である。

（１）児童生徒質問紙から

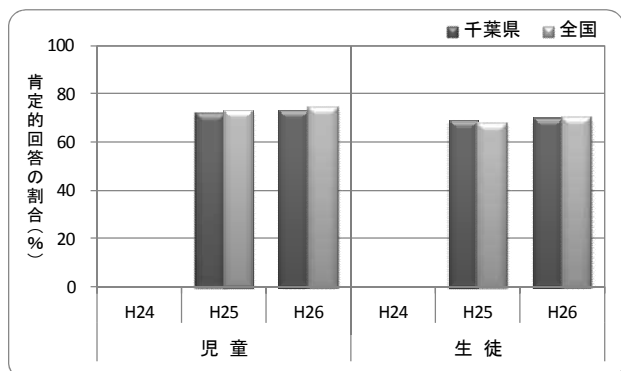
友達に伝えることについては、70%以上の児童生徒がうまく伝えることができると回答している。一方で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることについては、約60%の児童生徒が難しいと回答している。しかし、その割合は年々減少傾向にあり、これは学習指導要領に示されている言語活動についての指導が一定の成果を上げていると見ることができる。今後も、自分の考えを説明したり文章に書いたりする学習について、継続して指導にあたることが大切である。

8 友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか（平成24年度は調査なし）

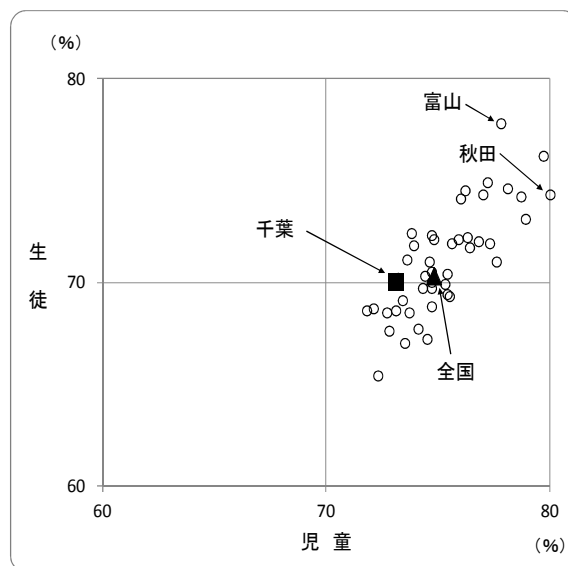
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】

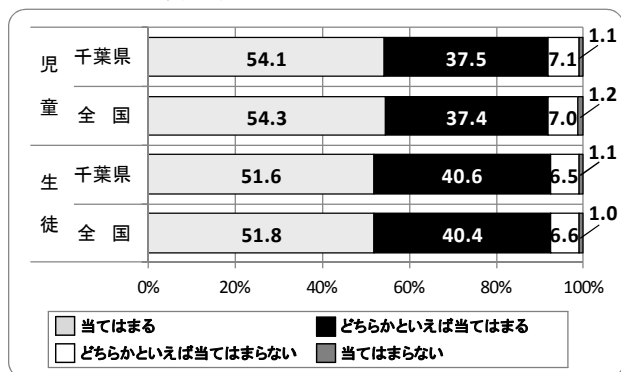


肯定的回答の割合は、児童は全国よりやや低く、生徒は全国と同程度である。全国的に見ると、児童は下位にあり、1.7ポイント下回る。昨年度と比べて、児童生徒ともに1.3ポイント上昇している。

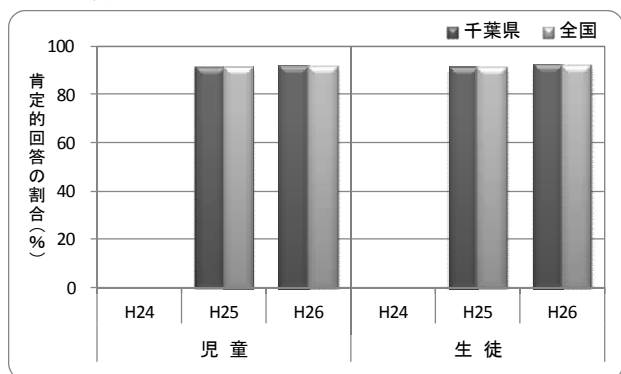
9

友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
(平成24年度は調査なし)

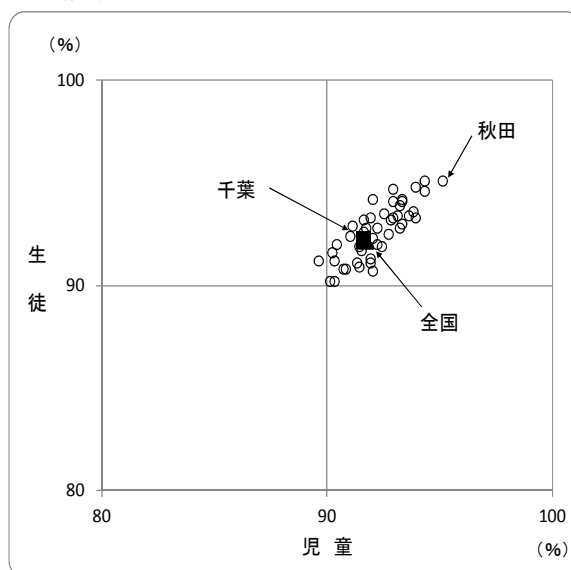
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】

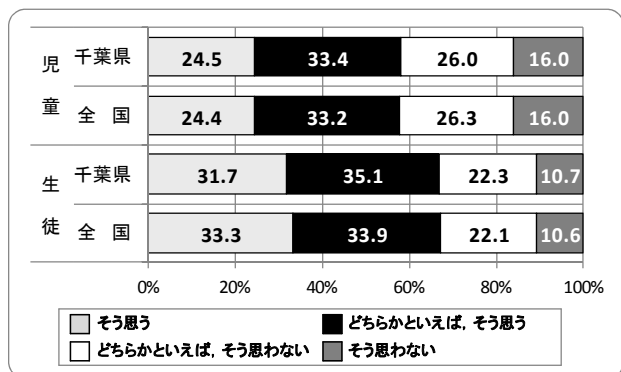


肯定的回答の割合は、児童生徒ともに90%を超えている。児童は全国と同程度であり、生徒は全国と同じである。昨年度と比べて、児童は横ばいで、生徒は1.4ポイント上昇している。

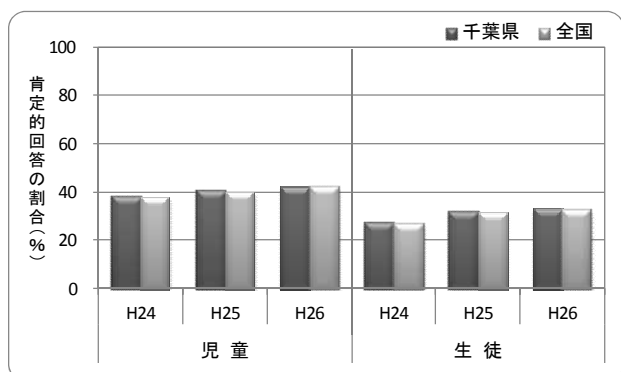
47

学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

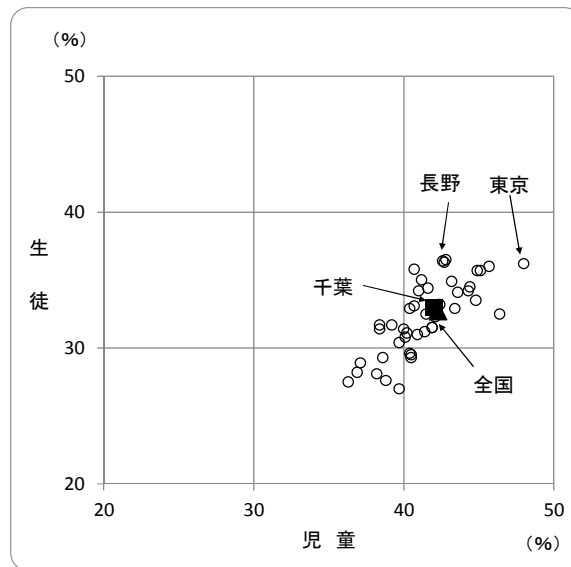
【平成26年度調査結果】



【経年変化】



【散布図】



難しいと思っている児童の割合は全国と同程度であり、生徒は全国と比べてやや低い。平成24年度以降、児童生徒ともに減少傾向にある。児童と生徒を比較すると、児童より生徒の方が難しいと思っている割合が高い。

※「肯定的回答」とは、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合の合計である。

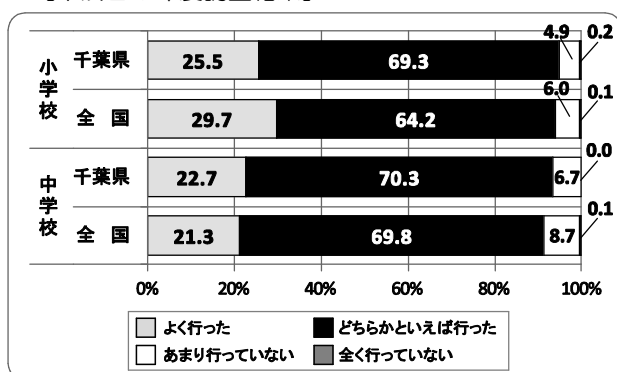
(2) 学校質問紙から

言語活動に関する指導については、約 90%の学校が指導を行っていると回答しており、ほとんどの学校において、一定の指導が行われていると考えられる。しかし、教科に関する調査結果を見ると、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることについては、その成果が十分に表れているとは言い難い。今後、言語活動の内容を吟味したり精選したりして指導を行っていく必要があると考えられる。例えば、「説明する」というような言語活動を取り入れる際には、様々な説明の方法などを具体的に指導し、スキルアップを図っていくような指導も重要である。

また、言語活動に重点を置いた指導計画を作成している学校は 80%を超え、全国と同程度である。しかし、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている割合は全国平均を下回り、全国的に見て下位に位置している。今後、作成された指導計画に基づき、実施状況や課題について、全教職員の間で十分に検討し、学校全体として言語活動の質を高める指導に取り組んでいくことが重要である。

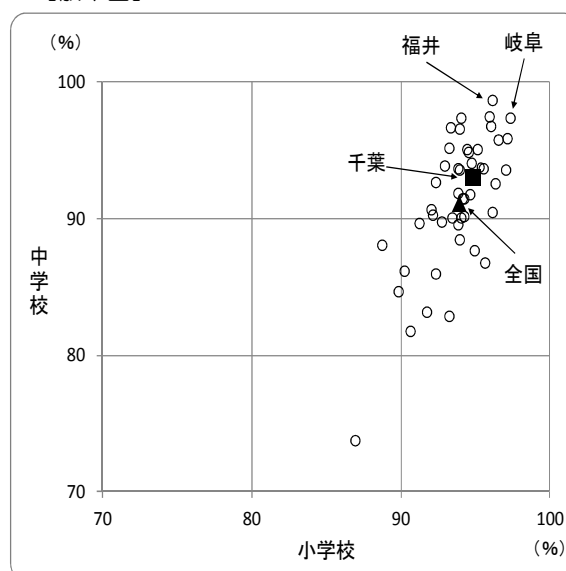
31 前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

【平成 26 年度調査結果】



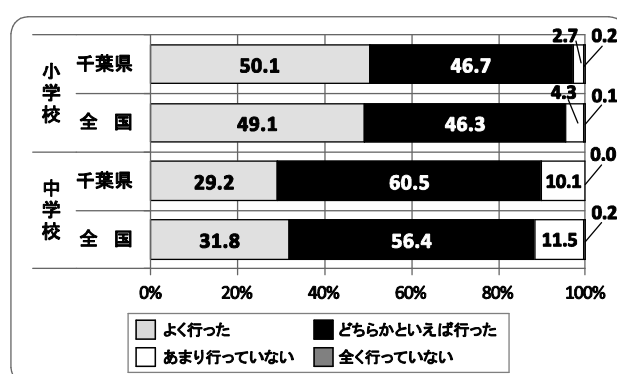
肯定的回答の割合は、小学校は 94.8%、中学校は 93.0%であり、小学校は全国と同程度で、中学校は全国と比べてやや低い。

【散布図】



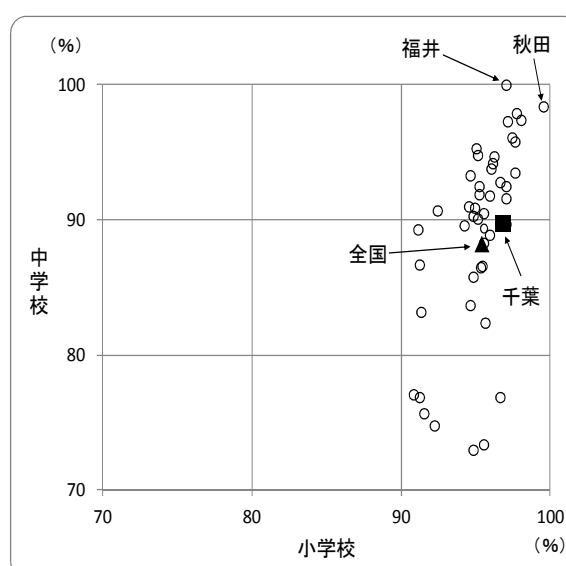
38 前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか

【平成 26 年度調査結果】



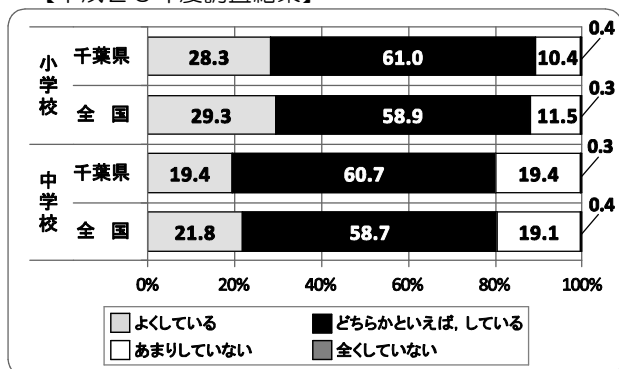
肯定的回答の割合は、小学校は 96.8%、中学校は 89.7%であり、小中学校ともに全国と比べてやや高い。

【散布図】



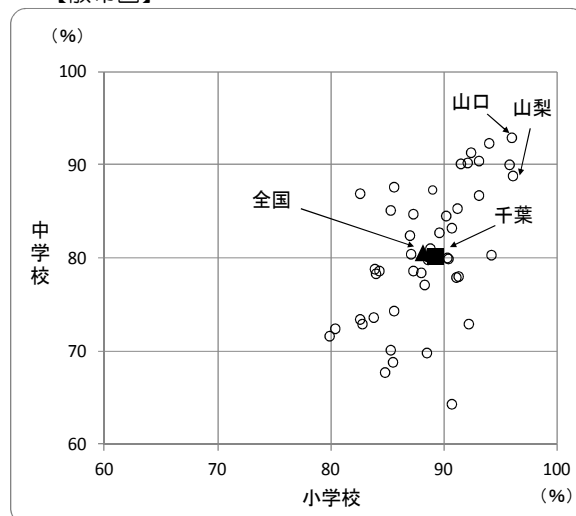
小 95/中 93 言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか

【平成26年度調査結果】



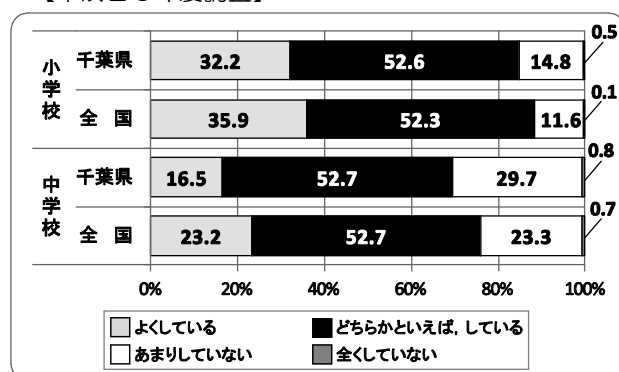
肯定的回答の割合は、小学校は 89.3%、中学校は 80.1%で、小中学校ともに全国と同程度である。

【散布図】



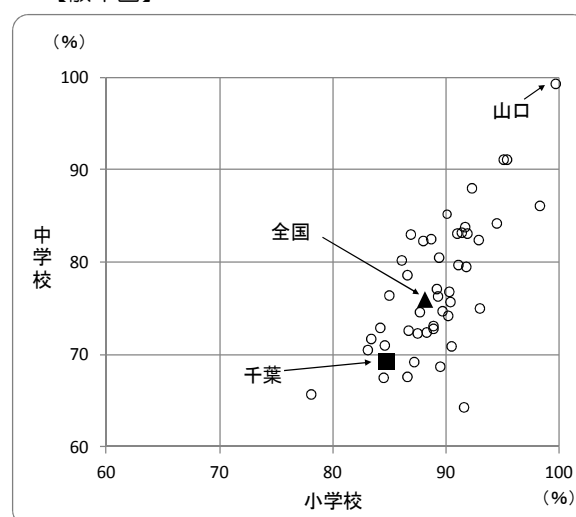
小 96/中 94 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか（新規）

【平成26年度調査】



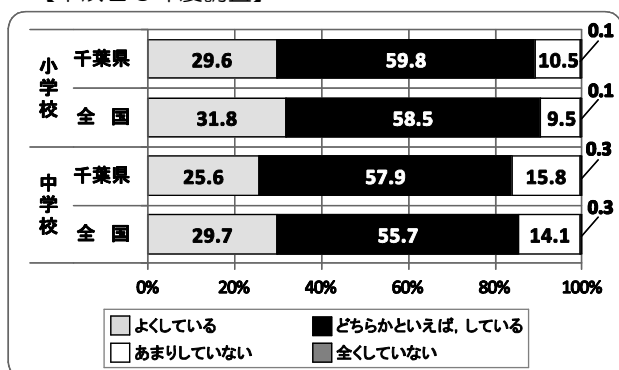
肯定的回答の割合は、小学校は 84.8%、中学校は 69.2%で、全国と比べて小学校は 3.4 ポイント低く、中学校では 6.7 ポイント低い。

【散布図】



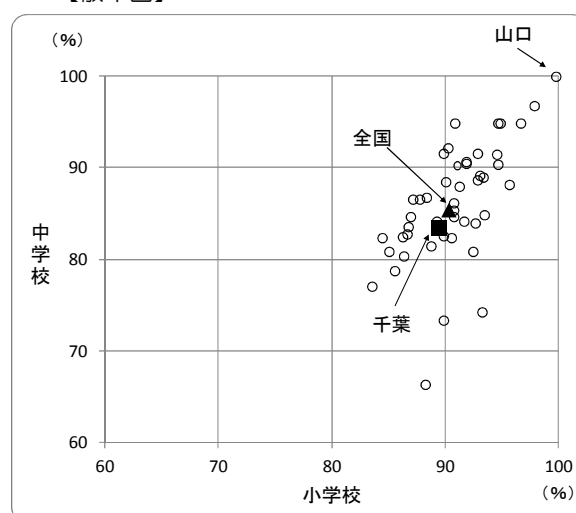
小 97/中 95 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか（新規）

【平成26年度調査】



肯定的回答の割合は、小学校は 89.4%、中学校は 83.5%で、全国と比べて小学校は 0.9 ポイント低く、中学校では 1.9 ポイント低い。

【散布図】



(3) 児童生徒質問紙と学校質問紙との関係

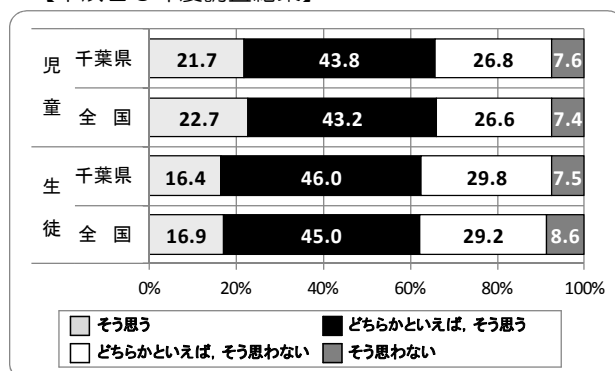
話し合う活動について、児童生徒と学校との間に認識の差が見られる。「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」と回答している学校の割合は1%台であるのに対して、児童生徒の割合が約8%程度となっている。学校は児童生徒が自分の考えを深めたり、広げたりすることができるよう具体的に指導を行い、実感が持てるようにしていくことが大切である。

自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることについて、児童よりも生徒の方が難しいと考えている割合が高い。一方、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしている学校の割合は、小学校より中学校の方が低い。今後、小中学校が連携を図りながら、児童生徒の発達段階に応じて、自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりするような学習活動を充実させていく必要がある。

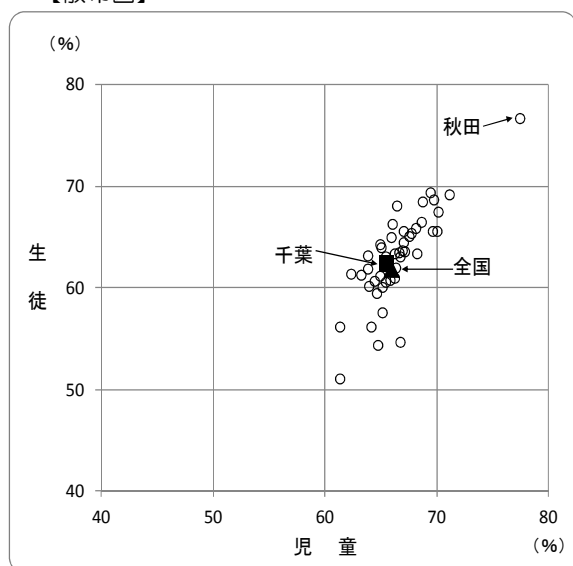
■児童生徒質問紙

48	学級の友達・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（新規）
----	--

【平成26年度調査結果】



【散布図】

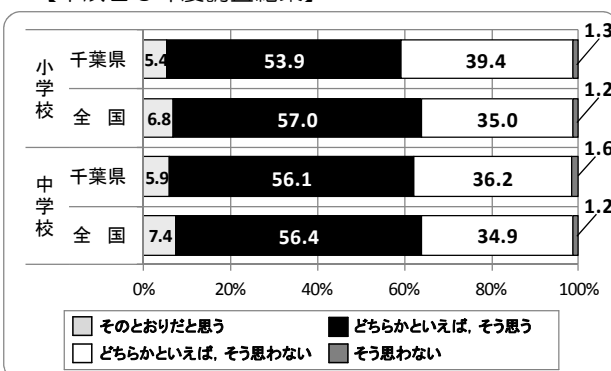


肯定的回答の割合は、児童は65.7%、生徒は62.4%で、児童生徒ともに全国と同程度である。

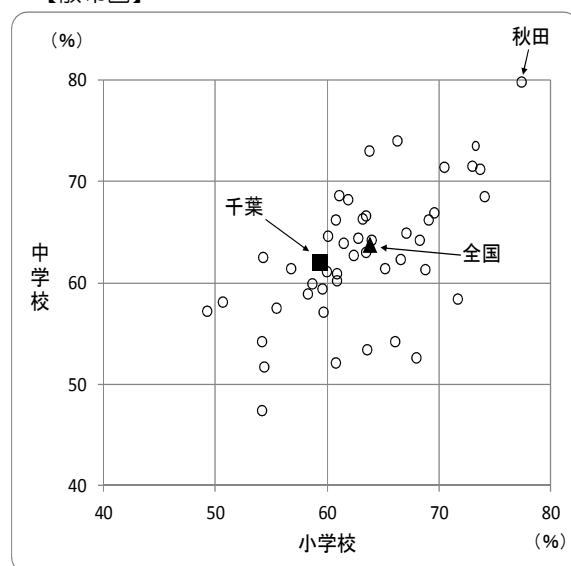
□学校質問紙

20	児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか（新規）
----	---

【平成26年度調査結果】



【散布図】

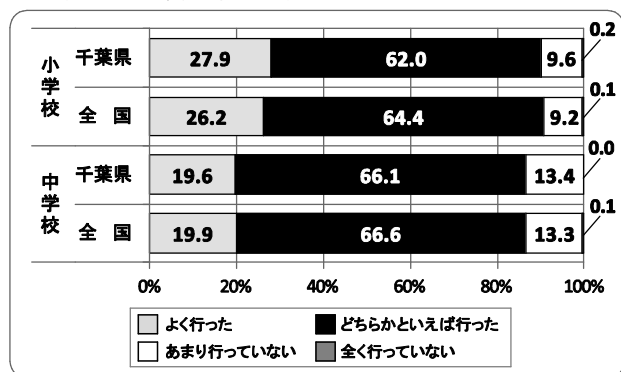


肯定的回答の割合は、小学校は59.3%、中学校は62.0%で、小学校は全国より4.5ポイント低く、中学校は1.8ポイント低い。

□学校質問紙

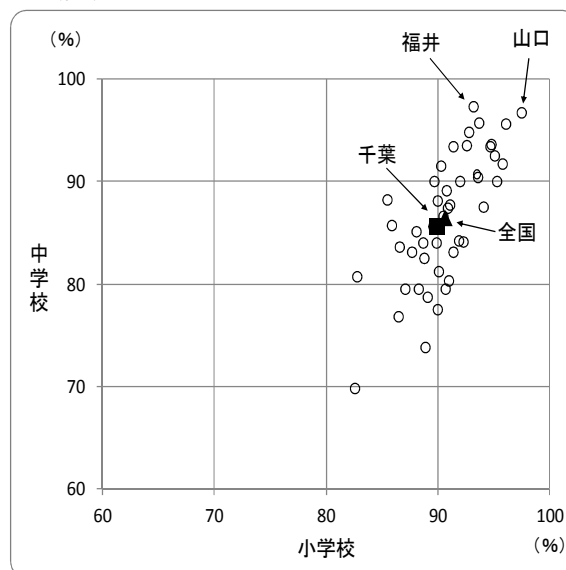
41 前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

【平成26年度調査結果】



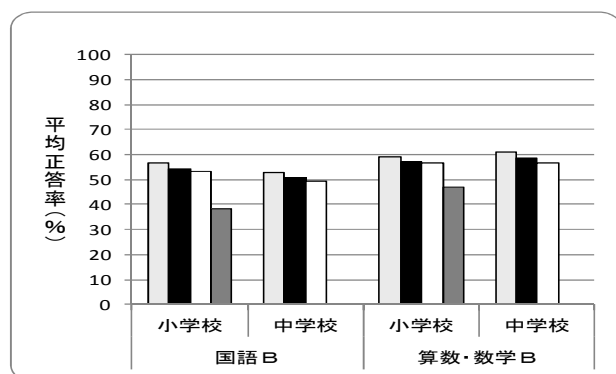
肯定的回答の割合は、小学校は 89.9%、中学校は 85.7%であり、小中学校ともに全国と同程度である。小学校と中学校を比較すると、行っている割合は小学校の方が高い。

【散布図】

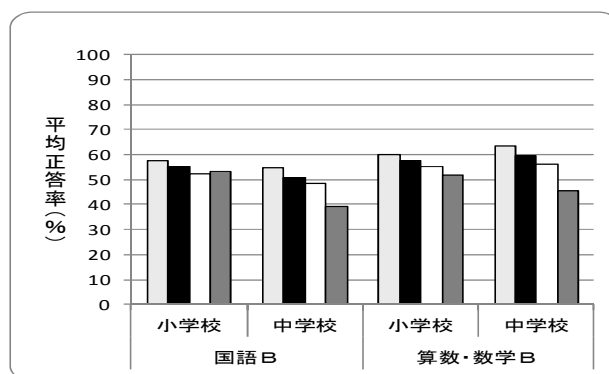


【回答結果と正答率との関連】※学校が回答した選択肢別の平均正答率を示している。

千葉県



全国

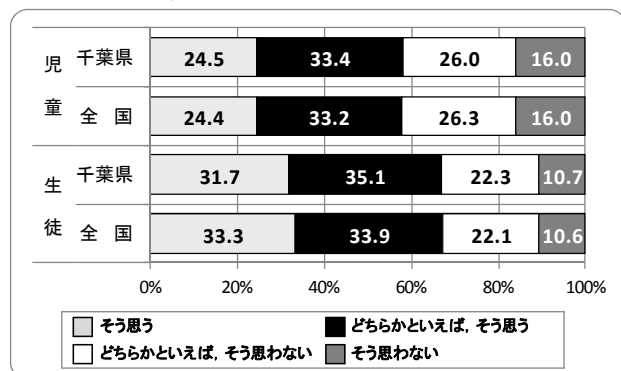


回答結果と正答率との関連について、文章に書かせる指導をしている学校ほど正答率が高い傾向が見られる。また、本県の場合、中学校において、全国ほどその傾向が強く表れておらず、成果として表れていない状況も考えられる。

■児童生徒質問紙

47 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思いますか

【平成26年度調査結果】



難しいと思っている割合は、児童は 57.9%、生徒は 66.8%であり、児童生徒ともに全国と同程度である。児童と生徒を比較すると、難しいと思っている割合は生徒の方が高い。

